

西島松北交流公園新築工事の内 建築工事その2

図 面 目 録

農園センターハウス		休憩所	
意匠図			
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
201/A	タイトル・図面目録		
202/A	特記仕様書（1）	構造図	
203/A	特記仕様書（2）	201/S	伏図・リスト
204/A	特記仕様書（3）		
205/A	特記仕様書（4）		
206/A	全体配置図	参考図	鉄骨継手図
207/A	案内図・配置図・面積表・仕上表	参考図	溶接標準図1
208/A	平面図・立面図・断面図・屋根伏図・各室面積表	参考図	溶接標準図2
209/A	矩計図・平面詳細図		
210/A	展開図		
211/A	伏図・天井伏図		
212/A	軸組図		
213/A	建具表		
214/A	部分詳細図		
215/A	休憩所 平面図・伏図・仕上表		
216/A	休憩所 軸組図・部材リスト		
217/A	軸組計算図		

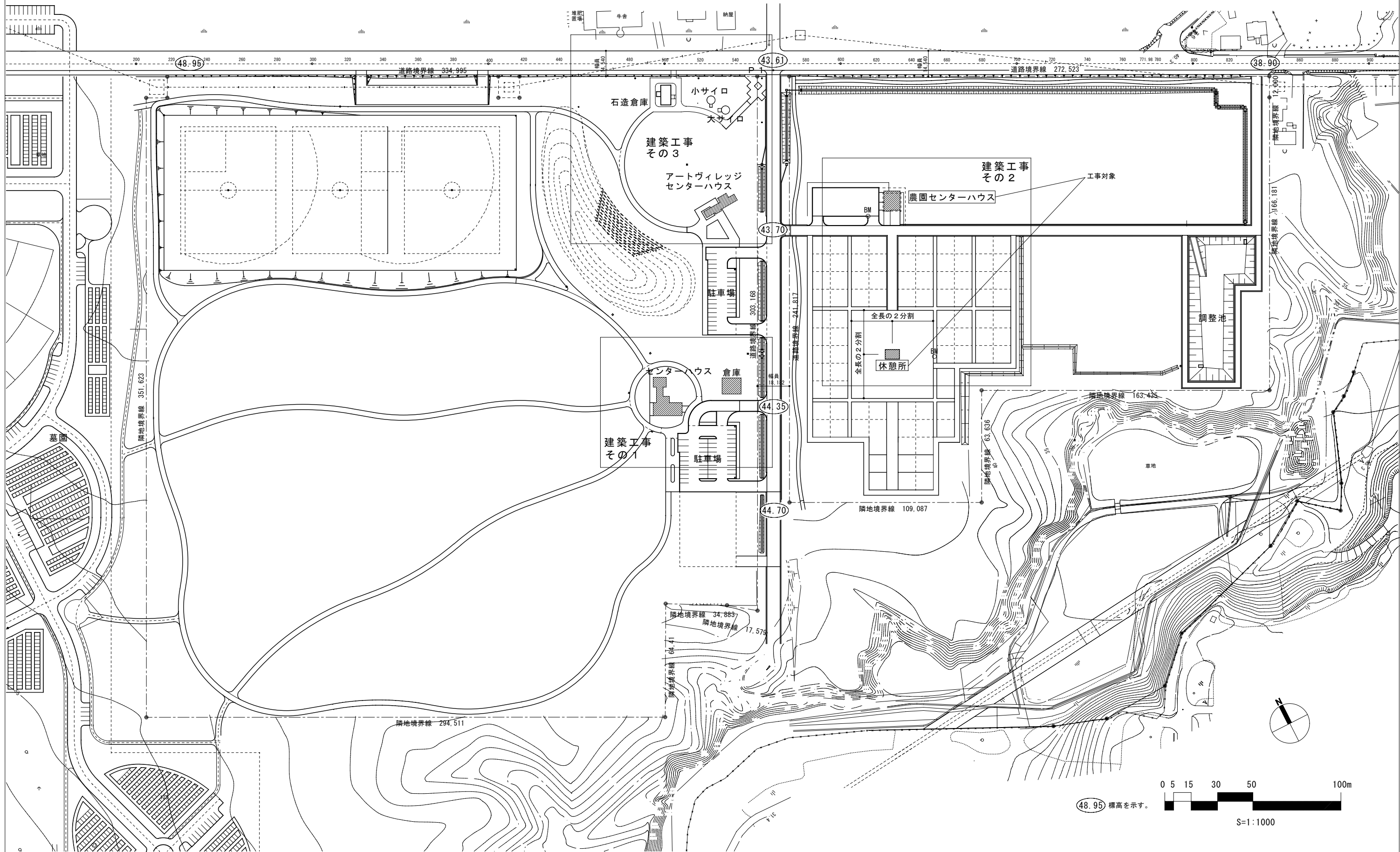
[illegible]

9	樹脂建築具	窓枠用材：硬質ポリ塩化ビニル製（JIS K 6785）																								
		<table><tr><th>種 別</th><th>外 部</th><th>内 部</th></tr><tr><td>性能による種類</td><td>・ 普通 ・ 防音 ・ 断熱</td><td>・ 普通 ・ 防音 ・ 断熱</td></tr><tr><td>用途による種類</td><td>・ 木部用 ・ R C造</td><td>・ 木部用 ・ R C造</td></tr><tr><td>耐風圧性による性</td><td>・ S-3 ・ S-4</td><td></td></tr><tr><td>気密性による性能</td><td>・ A-3 ・ A-4</td><td></td></tr><tr><td>水密性による性能</td><td>・ W-2 ・ W-3 ・ W-4</td><td></td></tr><tr><td>遮音性による性能</td><td>・ T-1</td><td></td></tr><tr><td>断熱性による性能</td><td>・ H-1</td><td></td></tr></table>	種 別	外 部	内 部	性能による種類	・ 普通 ・ 防音 ・ 断熱	・ 普通 ・ 防音 ・ 断熱	用途による種類	・ 木部用 ・ R C造	・ 木部用 ・ R C造	耐風圧性による性	・ S-3 ・ S-4		気密性による性能	・ A-3 ・ A-4		水密性による性能	・ W-2 ・ W-3 ・ W-4		遮音性による性能	・ T-1		断熱性による性能	・ H-1	
種 別	外 部	内 部																								
性能による種類	・ 普通 ・ 防音 ・ 断熱	・ 普通 ・ 防音 ・ 断熱																								
用途による種類	・ 木部用 ・ R C造	・ 木部用 ・ R C造																								
耐風圧性による性	・ S-3 ・ S-4																									
気密性による性能	・ A-3 ・ A-4																									
水密性による性能	・ W-2 ・ W-3 ・ W-4																									
遮音性による性能	・ T-1																									
断熱性による性能	・ H-1																									
10	建築用金物	金物の材質・仕様は図示による。 マスターキー： ③ 3本製作する ・ 製作しない グランドマスターキー： ③ 3本製作する ・ 製作しない キーボックス： ・ 本用 開閉方法： ・ 片引き ・ 引分け ・ 片開き（16.8.2）（表16.8.1）（表16.8.2） センサの種類： ・ 光線スイッチ ・ 熱線スイッチ （表16.8.3） 凍結防止装置：ドア下部ヒーター付（16.8.3） 機能による種類： ・ 防火シャッター ・ 防煙シャッター ・ その他（16.10.2） 耐風圧性能区分（JISA 4705）： ・ 50 ・ 80 ・ 120 開閉機能による種類： ※ 上部電動式（手動併用） ・ 上部手動式 危害防止機構（煙又は熱感知通知）： ※ 障害物感知装置（自動閉鎖型） ・ シャッターの二段降下方式 工事範囲 電源ならびに一次側配線は、別途電気設備工事として、操作スイッチ及び二次側配線は本工事に含む。 スラットの材質： ※ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板又は鋼帯（16.11.3） スラットの形状： ・ インターロック型系 ・ オーバーラッピング系（16.11.4） 開閉機能による種類： ・ 上部電動式（手動併用） ・ 手動式（16.11.2） 耐風圧性能区分（JISA 4704）： ・ 50 ・ 65 ・ 80 工事範囲 電源ならびに一次側配線は、別途電気設備工事として、操作スイッチ及び二次側配線は本工事に含む。 セクション材料： ※ スチール・アルミニウム・ファイバーグラス（16.12.2） 耐風圧性能区分（JISA 4715）： ・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125 開閉方法： ※ バランス式 ・ チェーン式（一部水圧開放装置付） ・ 電動式 収納形式： ・ スタンダード形 ・ ローハット形・ハイリフト形・パーテカル形 ガイドレール： ※ 溶融亜鉛めっき鋼板・ステンレス（SUS 304）（16.12.3） ・ 可動中柱固定用足部には凍結防止用熱線ヒータ入 工事範囲 電源ならびに一次側配線は、別途電気設備工事として、操作スイッチ及び二次側配線は本工事に含む。																								
11	自動ドア開閉装置																									
12	重量シャッター																									
13	軽量シャッター																									
14	オーバーヘッドドア																									
15	ガラス	① フロート板ガラス（JIS R 3202）（16.13.2） ・ 型板ガラス（JIS R 3203） ・ 網入板ガラス（JIS R 3204） ※ 網入型板ガラス ・ 網入磨き板ガラス ・ 合わせガラス（JIS R 3205） ・ フロート合わせガラス ・ 1種 ・ 2種 ・ 強化ガラス（JIS R 3206） ※ フロート強化ガラス ・ 熱線吸収板ガラス（JIS R 3208） 日射熱取得率による区分 ・ 熱線吸収フロートガラス ・ 熱線吸収網入りみがき板ガラス 色調 ・ グレー ・ ブルー ・ ブロンズ ・ グリーン ・ 複層ガラス（JIS R 3209） 断熱性による区分 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 日射熱透過率による区分 ・ 4種 ・ 5種 加速耐久性による区分 ※ 耳類 ・ 熱線反射ガラス（JIS R 3221）日射熱透過率による区分 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 耐久性による区分 ・ A類 ・ B類 ・ 増強度ガラス（JIS R 3222）（16.13.3）（表16.13.1） ガラス溝の大きさ（面クリアランス） 強化ガラス： 8 mm 合わせガラス： mm 増強度ガラス： mm ガラスの厚さ及び特性 ※ 図示による																								
16	ガラスの窓め材	種別 <table><tr><th>建具の種類</th><th>材 種</th></tr><tr><td>① アルミニウム製</td><td>※ シーリング材 ・ 建築用ガスケット （ ・ グレーチングチャンネル ・ グレージングビート） ※ シーリング材 ・ 建築用ガスケット （ ・ グレーチングチャンネル ・ グレージングビート） ※ JISA 5753（木製建具用パチ） ・ 建築用ガスケット （ ・ グレーチングチャンネル ・ グレージングビート）</td></tr><tr><td>・ 鋼製及びステンレス製</td><td></td></tr><tr><td>① 木製</td><td></td></tr><tr><td>・ プラスチック製</td><td></td></tr></table>	建具の種類	材 種	① アルミニウム製	※ シーリング材 ・ 建築用ガスケット （ ・ グレーチングチャンネル ・ グレージングビート） ※ シーリング材 ・ 建築用ガスケット （ ・ グレーチングチャンネル ・ グレージングビート） ※ JISA 5753（木製建具用パチ） ・ 建築用ガスケット （ ・ グレーチングチャンネル ・ グレージングビート）	・ 鋼製及びステンレス製		① 木製		・ プラスチック製															
建具の種類	材 種																									
① アルミニウム製	※ シーリング材 ・ 建築用ガスケット （ ・ グレーチングチャンネル ・ グレージングビート） ※ シーリング材 ・ 建築用ガスケット （ ・ グレーチングチャンネル ・ グレージングビート） ※ JISA 5753（木製建具用パチ） ・ 建築用ガスケット （ ・ グレーチングチャンネル ・ グレージングビート）																									
・ 鋼製及びステンレス製																										
① 木製																										
・ プラスチック製																										
17	ガラスブロック積み	表面形状、呼び寸法、厚さ（JISA 5212） ※ 図示による（16.13.5） カチの材質、寸法、形状 ※ 図示による 金属製化粧カバーの材質、寸法、形状 ※ 図示による																								
18	カーテン	1 性能 耐風圧性 ※ S- 耐震性 ※ 水密性 ※ W- 気密性 ※ A- 耐火性 ※ 時間耐火 耐温度差性 ※ 遮音性 ※ T- 断熱性 ※ H- 金属材料の種類等 ※ 図示による（17.2.2~8） 2 メタルカーテン ウォール 3 PCカーテンウォール レイディミクストコンクリートの種別 ※ I 類 ・ II 類（17.3.2）（表6.1.1） コンクリートの種類： ・ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート 設計基準強度（F _c ） ※ F _c = 30 N/mm ² シーリング材： ※ （部位、形状等は図示による） 断熱材： ※ （部位、形状等は図示による） 鉄筋の種類及び配筋： ※ 図示による その他の仕様																								
19	塗装工事	① 材 料 ② 防火材料 ③ 素地ごしらえ 塗料はホルマリン不抽出のものとする ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。（18.1.3） ・ 次の箇所を除く防火材料とする（箇所） 重組のつき面の素地ごしらえの種類（18.2.4）（表18.2.3）（表18.3.4） <table><tr><th>種別</th><th>施工部位及び塗料種別</th></tr><tr><td>A 種</td><td>鋼製の建具、2 液形ポリウレタンエナメル塗り、常置乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り</td></tr><tr><td>B 種</td><td>A 種、C 種以外</td></tr><tr><td>C 種</td><td>下塗りに変成エポキシ樹脂塗料塗り</td></tr></table>	種別	施工部位及び塗料種別	A 種	鋼製の建具、2 液形ポリウレタンエナメル塗り、常置乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り	B 種	A 種、C 種以外	C 種	下塗りに変成エポキシ樹脂塗料塗り																
種別	施工部位及び塗料種別																									
A 種	鋼製の建具、2 液形ポリウレタンエナメル塗り、常置乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り																									
B 種	A 種、C 種以外																									
C 種	下塗りに変成エポキシ樹脂塗料塗り																									

4	床用塗料塗り	① WUC	せっこうボード継目処理工法の床地ごしらえの種類（18.2.7）（表18.2.7）																													
			種 別： ・ A種 ※ B種																													
			材 質： ウレタン樹脂系塗料（○標準色 ・ ）																													
			仕上塗材： ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ																													
			塗 布 量： プライマー塗りのうえ主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5kg/㎡以上とする。																													
			材 質： 水性アクリル系樹脂塗料（ ・ 標準色 ）																													
			仕上塗材： コーティング（ローラー刷毛塗り）																													
			塗 布 量： 主剤2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/㎡以上とする。																													
			材 質： 水性反応硬化型ウレタン系樹脂ワニス塗装																													
内 装 工 事	① 接着剤	壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用するものとする。（19.2.2）																														
		接着剤は、ホルマリン不抽出のものとする。																														
		材 質： ・ 水性形																														
		接着剤に含まれる可溶剤は、難揮発性のものとする。																														
		② ビニル床シート																														
		<table><tr><th>種 別</th><th>記 号</th><th>厚 さ (mm)</th><th>色 柄</th><th>工 法</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td>※ 発泡層のないもの</td><td>※ NC</td><td>・ 2.5</td><td>※ 無地</td><td>・ 実付け</td><td></td></tr><tr><td>・ リノリウム床シート</td><td>・</td><td>・ 2.0</td><td>・ マーブル</td><td>・ 熱溶接</td><td></td></tr><tr><td>○塩ビ ノンスリップ</td><td></td><td>○2.5</td><td>木目調</td><td>○熱溶接</td><td>男子、女子、多目的使用</td></tr></table>						種 別	記 号	厚 さ (mm)	色 柄	工 法	施 工 箇 所	※ 発泡層のないもの	※ NC	・ 2.5	※ 無地	・ 実付け		・ リノリウム床シート	・	・ 2.0	・ マーブル	・ 熱溶接		○塩ビ ノンスリップ		○2.5	木目調	○熱溶接	男子、女子、多目的使用	
		種 別	記 号	厚 さ (mm)	色 柄	工 法	施 工 箇 所																									
		※ 発泡層のないもの	※ NC	・ 2.5	※ 無地	・ 実付け																										
		・ リノリウム床シート	・	・ 2.0	・ マーブル	・ 熱溶接																										
		○塩ビ ノンスリップ		○2.5	木目調	○熱溶接	男子、女子、多目的使用																									
床暖房用防滑長尺シート（ABC商会 特殊防汚シート床材D-25同等品）（19.2.2）																																
<table><tr><th>種 類</th><th>厚 さ (mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ ホモジニアスビニル床タイル</td><td>※ 2.0</td><td></td></tr><tr><td>・ コンポジションビニル床タイル（半硬質）</td><td>・ 3.0</td><td>ABC商会 マーブルAJ</td></tr><tr><td>・ コンポジションビニル床タイル（軟質）</td><td></td><td></td></tr></table>						種 類	厚 さ (mm)	備 考	・ ホモジニアスビニル床タイル	※ 2.0		・ コンポジションビニル床タイル（半硬質）	・ 3.0	ABC商会 マーブルAJ	・ コンポジションビニル床タイル（軟質）																	
種 類	厚 さ (mm)	備 考																														
・ ホモジニアスビニル床タイル	※ 2.0																															
・ コンポジションビニル床タイル（半硬質）	・ 3.0	ABC商会 マーブルAJ																														
・ コンポジションビニル床タイル（軟質）																																
3 ビニル床タイル																																
4	特殊機能床材	帯電防止床シート、床タイル（19.2.2）																														
		<table><tr><th>種 別</th><th>種 類</th><th>性能（体積抵抗値）</th><th>厚 さ (mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ 帯電防止</td><td>※ NC</td><td>※ 1.0 × 10¹⁰ Ω以下</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>床シート</td><td></td><td></td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・ 帯電防止</td><td>・ ホモジニアス</td><td></td><td>・ 5.0</td><td></td></tr><tr><td>床タイル</td><td>・ コンポジション</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						種 別	種 類	性能（体積抵抗値）	厚 さ (mm)	備 考	・ 帯電防止	※ NC	※ 1.0 × 10 ¹⁰ Ω以下	・		床シート			・		・ 帯電防止	・ ホモジニアス		・ 5.0		床タイル	・ コンポジション			
		種 別	種 類	性能（体積抵抗値）	厚 さ (mm)	備 考																										
		・ 帯電防止	※ NC	※ 1.0 × 10 ¹⁰ Ω以下	・																											
		床シート			・																											
		・ 帯電防止	・ ホモジニアス		・ 5.0																											
		床タイル	・ コンポジション																													
		視覚障害者用タイル（誘導用、注意喚起用床材）（19.2.2）																														
		<table><tr><th>種 類</th><th>寸 法 (mm)</th><th>厚 さ (mm)</th></tr><tr><td>・ 塩化ビニル系</td><td>・ 300 × 300</td><td>・ 7</td></tr><tr><td>・ レジコンクリート</td><td>・ 300 × 300</td><td>・ 20</td></tr><tr><td>・ プレキャスト製</td><td>・ 300 × 300</td><td>・</td></tr></table>						種 類	寸 法 (mm)	厚 さ (mm)	・ 塩化ビニル系	・ 300 × 300	・ 7	・ レジコンクリート	・ 300 × 300	・ 20	・ プレキャスト製	・ 300 × 300	・													
		種 類	寸 法 (mm)	厚 さ (mm)																												
・ 塩化ビニル系	・ 300 × 300	・ 7																														
・ レジコンクリート	・ 300 × 300	・ 20																														
・ プレキャスト製	・ 300 × 300	・																														
② ビニル巾木																																
<table><tr><th>材 質</th><th>高 さ (mm)</th><th>厚 さ (mm)</th></tr><tr><td>※ 軟質 ・ 硬質</td><td>・ 60 ・ 75 ○100</td><td>※ 2.0</td></tr></table>						材 質	高 さ (mm)	厚 さ (mm)	※ 軟質 ・ 硬質	・ 60 ・ 75 ○100	※ 2.0																					
材 質	高 さ (mm)	厚 さ (mm)																														
※ 軟質 ・ 硬質	・ 60 ・ 75 ○100	※ 2.0																														
6 ゴム床タイル																																
<table><tr><th>色 柄</th><th>厚 さ (mm)</th><th>寸 法 (mm)</th><th>製 造 所</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						色 柄	厚 さ (mm)	寸 法 (mm)	製 造 所																							
色 柄	厚 さ (mm)	寸 法 (mm)	製 造 所																													
7 カーペット敷き																																
・ 織じゅうたん（19.3.3）（19.3.4）（表19.3.1）																																
<table><tr><th>種 別</th><th>パイル形状</th><th>導電性</th><th>織り方</th><th>色 等 類</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ A種</td><td>・ カットパイル</td><td>※ 人体帯電圧</td><td>・ ウェントンカーベット</td><td>・ 無地</td><td></td></tr><tr><td>・ B種</td><td>・ ループパイル</td><td>3kV以下</td><td>・ ダブルフュスカーベット</td><td>・ 柄物</td><td></td></tr><tr><td>※ C種</td><td>・ カット・ループ併用</td><td>・</td><td>・ アキアウンスターカーベット</td><td></td><td></td></tr></table>						種 別	パイル形状	導電性	織り方	色 等 類	備 考	・ A種	・ カットパイル	※ 人体帯電圧	・ ウェントンカーベット	・ 無地		・ B種	・ ループパイル	3kV以下	・ ダブルフュスカーベット	・ 柄物		※ C種	・ カット・ループ併用	・	・ アキアウンスターカーベット					
種 別	パイル形状	導電性	織り方	色 等 類	備 考																											
・ A種	・ カットパイル	※ 人体帯電圧	・ ウェントンカーベット	・ 無地																												
・ B種	・ ループパイル	3kV以下	・ ダブルフュスカーベット	・ 柄物																												
※ C種	・ カット・ループ併用	・	・ アキアウンスターカーベット																													
・ タフテッドカーベット（19.3.3）（19.3.4）（表19.3.2）																																
<table><tr><th>パイル形状</th><th>パイル長 (mm)</th><th>導電性</th><th>工 法</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ カットパイル</td><td>・</td><td>※ 人体帯電圧 3kV以下</td><td>※ 全面接着工法</td><td></td></tr><tr><td>・ ループパイル</td><td>・</td><td>・</td><td>・ グリッパ工法</td><td></td></tr><tr><td>・ レールループパイル</td><td>・</td><td>・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ カット・ループ併用</td><td>・</td><td>・</td><td></td><td></td></tr></table>						パイル形状	パイル長 (mm)	導電性	工 法	備 考	・ カットパイル	・	※ 人体帯電圧 3kV以下	※ 全面接着工法		・ ループパイル	・	・	・ グリッパ工法		・ レールループパイル	・	・			・ カット・ループ併用	・	・				
パイル形状	パイル長 (mm)	導電性	工 法	備 考																												
・ カットパイル	・	※ 人体帯電圧 3kV以下	※ 全面接着工法																													
・ ループパイル	・	・	・ グリッパ工法																													
・ レールループパイル	・	・																														
・ カット・ループ併用	・	・																														
・ ニードルパンチカーベット（19.3.3）																																
<table><tr><th>厚 さ (mm)</th><th>導電性</th><th>製 造 所</th></tr><tr><td>・</td><td>※ 人体帯電圧 3kV以下</td><td>・</td></tr></table>						厚 さ (mm)	導電性	製 造 所	・	※ 人体帯電圧 3kV以下	・																					
厚 さ (mm)	導電性	製 造 所																														
・	※ 人体帯電圧 3kV以下	・																														
・ タイルカーベット（19.3.3）（表19.3.2）																																
<table><tr><th>種 別</th><th>パイル形状</th><th>寸 法 (mm)</th><th>総厚 さ (mm)</th><th>電気抵抗 (Ω)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※ 第一種</td><td>・ カットパイル</td><td>※ 500 × 500</td><td>※ 6.5</td><td>※ 適用しない</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>※ ループパイル</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr></table>						種 別	パイル形状	寸 法 (mm)	総厚 さ (mm)	電気抵抗 (Ω)	備 考	※ 第一種	・ カットパイル	※ 500 × 500	※ 6.5	※ 適用しない		・	※ ループパイル	・	・	・										
種 別	パイル形状	寸 法 (mm)	総厚 さ (mm)	電気抵抗 (Ω)	備 考																											
※ 第一種	・ カットパイル	※ 500 × 500	※ 6.5	※ 適用しない																												
・	※ ループパイル	・	・	・																												
敷き方（19.4.3）																																
<table><tr><th>平 場</th><th>※ 市松敷き（1対1貼）</th><th>・ 模様流し</th></tr><tr><th>階段部分</th><th>・ 市松敷き</th><th>※ 模様流し</th></tr></table>						平 場	※ 市松敷き（1対1貼）	・ 模様流し	階段部分	・ 市松敷き	※ 模様流し																					
平 場	※ 市松敷き（1対1貼）	・ 模様流し																														
階段部分	・ 市松敷き	※ 模様流し																														
下敷き材																																
※ JIS L 3204（反毛フェルト）の第2種第2号 呼び厚さ8mm																																
8	合成樹脂塗床	（19.4.3）（表19.4.3~表19.4.7）																														
		<table><tr><th>種 類</th><th>仕 上 げ の 種 類</th></tr><tr><td>※ 弾性ウレタン塗床</td><td>※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ</td></tr><tr><td>・ エポキシ樹脂塗装</td><td>※ 薄膜流し裏べ仕上げ ・ 厚膜流し裏べ仕上げ（ ・ 平滑 ・ 防滑） ・ 樹脂モルタル仕上げ（ ・ 平滑 ・ 防滑） ・ 防滑仕上げ</td></tr></table>						種 類	仕 上 げ の 種 類	※ 弾性ウレタン塗床	※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ	・ エポキシ樹脂塗装	※ 薄膜流し裏べ仕上げ ・ 厚膜流し裏べ仕上げ（ ・ 平滑 ・ 防滑） ・ 樹脂モルタル仕上げ（ ・ 平滑 ・ 防滑） ・ 防滑仕上げ																			
		種 類	仕 上 げ の 種 類																													
		※ 弾性ウレタン塗床	※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ																													
		・ エポキシ樹脂塗装	※ 薄膜流し裏べ仕上げ ・ 厚膜流し裏べ仕上げ（ ・ 平滑 ・ 防滑） ・ 樹脂モルタル仕上げ（ ・ 平滑 ・ 防滑） ・ 防滑仕上げ																													
		ウレタン樹脂系塗り床材（ABC商会 パークコートシステム同等品）（19.5.2、19.5.4~19.5.7）（表19.5.1、表19.5.3）																														
		フローリングの種類																														
		・ 単層フローリング																														
		<table><tr><th>品 名</th><th>樹脂</th><th>厚 さ (mm)</th><th>大 き さ (mm)</th><th>工 法</th></tr><tr><td>・ フローリングボード</td><td>※ なら</td><td>・ 15</td><td>・ 幅75 ・ 長さ500以上</td><td>・ 釘止め工法</td></tr><tr><td>・ フローリングブロック</td><td>※ なら</td><td>※ 15</td><td>※ 303 × 303</td><td>・ モルタル埋め込み工法 ・ 接着工法</td></tr><tr><td>・ モザイクパーケット</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						品 名	樹脂	厚 さ (mm)	大 き さ (mm)	工 法	・ フローリングボード	※ なら	・ 15	・ 幅75 ・ 長さ500以上	・ 釘止め工法	・ フローリングブロック	※ なら	※ 15	※ 303 × 303	・ モルタル埋め込み工法 ・ 接着工法	・ モザイクパーケット									
		品 名	樹脂	厚 さ (mm)	大 き さ (mm)	工 法																										
・ フローリングボード	※ なら	・ 15	・ 幅75 ・ 長さ500以上	・ 釘止め工法																												
・ フローリングブロック	※ なら	※ 15	※ 303 × 303	・ モルタル埋め込み工法 ・ 接着工法																												
・ モザイクパーケット																																
・ 天然木化粧板複合フローリング（19.5.3）																																
<table><tr><th>品 名</th><th>樹脂</th><th>種 別</th><th>防 湿 処 理</th><th>工 法</th></tr><tr><td>・ 複合1種フローリング</td><td>※ なら</td><td>・ A種</td><td>・ 行う</td><td></td></tr><tr><td>・ 複合2種フローリング</td><td>・</td><td>・ B種</td><td></td><td>・ 釘止め工法</td></tr><tr><td>・ 複合3種フローリング</td><td></td><td>※ C種</td><td></td><td>・ 接着工法</td></tr></table>						品 名	樹脂	種 別	防 湿 処 理	工 法	・ 複合1種フローリング	※ なら	・ A種	・ 行う		・ 複合2種フローリング	・	・ B種		・ 釘止め工法	・ 複合3種フローリング		※ C種		・ 接着工法							
品 名	樹脂	種 別	防 湿 処 理	工 法																												
・ 複合1種フローリング	※ なら	・ A種	・ 行う																													
・ 複合2種フローリング	・	・ B種		・ 釘止め工法																												
・ 複合3種フローリング		※ C種		・ 接着工法																												
塗装（19.5.3）																																
※ ウレタン樹脂ワニス塗り ・ 油性ステイン ・ 生地のままワックス塗り																																
ホルムアルデヒドの放数量（19.5.2）																																
※ F☆☆☆☆																																
10	畳敷き	種 別： ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種（19.6.2）（表19.6.1）																														
		D種の場合の塗床： ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N（表19.6.1）																														

1	せっこうボード、 その他のボード及び 合板張り	① せっこうボード、 その他のボード及び 合板張り	（19.7.2）（表19.7.1） <table><tr><th>名称</th><th>種 類</th><th>規格、区分等</th><th>厚 さ (mm)</th></tr><tr><td rowspan="10">① せっこうボード（20-水）</td><td rowspan="10">壁</td><td rowspan="10">天井</td><td>① 9.5（標準） ※ 12.5（不燃） ※ 15.0（不燃）</td></tr><tr><td>※ 9.5（標準） ※ 12.5（不燃） ※ 15.0（不燃）</td></tr><tr><td>・ シージングせっこうボード（20-5） ・ 強化せっこうボード（20-7）</td></tr><tr><td>※ 9.5（標準） ※ 12.5（不燃） ※ 15.0（不燃）</td></tr><tr><td>・ せっこうラスボード（20-7）</td></tr><tr><td>※ 9.5（標準） ※ 12.5（不燃） ※ 15.0（不燃）</td></tr><tr><td>・ 不燃層せっこうボード（20-10）</td></tr><tr><td>※ 9.5（標準） ※ 12.5（不燃） ※ 15.0（不燃）</td></tr><tr><td>・ 化粧せっこうボード（20-9）</td></tr><tr><td>※ 9.5（標準） ※ 12.5（不燃） ※ 15.0（不燃）</td></tr></table> 電音材料 ・ ロックウール吸音ボード（20-8） ・ グラスウール吸音ボード（20-9） ・ ロックウール化粧吸音板（20） 1号 2号 3号 4号 5号 6号 7号 8号 9号 10号 11号 12号 13号 14号 15号 16号 17号 18号 19号 20号 21号 22号 23号 24号 25号 26号 27号 28号 29号 30号 31号 32号 33号 34号 35号 36号 37号 38号 39号 40号 41号 42号 43号 44号 45号 46号 47号 48号 49号 50号 51号 52号 53号 54号 55号 56号 57号 58号 59号 60号 61号 62号 63号 64号 65号 66号 67号 68号 69号 70号 71号 72号 73号 74号 75号 76号 77号 78号 79号 80号 81号 82号 83号 84号 85号 86号 87号 88号 89号 90号 91号 92号 93号 94号 95号 96号 97号 98号 99号 100号 101号 102号 103号 104号 105号 106号 107号 108号 109号 110号 111号 112号 113号 114号 115号 116号 117号 118号	名称	種 類	規格、区分等	厚 さ (mm)	① せっこうボード（20-水）	壁	天井	① 9.5（標準） ※ 12.5（不燃） ※ 15.0（不燃）	※ 9.5（標準） ※ 12.5（不燃） ※ 15.0（不燃）	・ シージングせっこうボード（20-5） ・ 強化せっこうボード（20-7）	※ 9.5（標準） ※ 12.5（不燃） ※ 15.0（不燃）	・ せっこうラスボード（20-7）	※ 9.5（標準） ※ 12.5（不燃） ※ 15.0（不燃）	・ 不燃層せっこうボード（20-10）	※ 9.5（標準） ※ 12.5（不燃） ※ 15.0（不燃）	・ 化粧せっこうボード（20-9）	※ 9.5（標準） ※ 12.5（不燃） ※ 15.0（不燃）
名称	種 類	規格、区分等	厚 さ (mm)																	
① せっこうボード（20-水）	壁	天井	① 9.5（標準） ※ 12.5（不燃） ※ 15.0（不燃）																	
			※ 9.5（標準） ※ 12.5（不燃） ※ 15.0（不燃）																	
			・ シージングせっこうボード（20-5） ・ 強化せっこうボード（20-7）																	
			※ 9.5（標準） ※ 12.5（不燃） ※ 15.0（不燃）																	
			・ せっこうラスボード（20-7）																	
			※ 9.5（標準） ※ 12.5（不燃） ※ 15.0（不燃）																	
			・ 不燃層せっこうボード（20-10）																	
			※ 9.5（標準） ※ 12.5（不燃） ※ 15.0（不燃）																	
			・ 化粧せっこうボード（20-9）																	
			※ 9.5（標準） ※ 12.5（不燃） ※ 15.0（不燃）																	

[illegible]

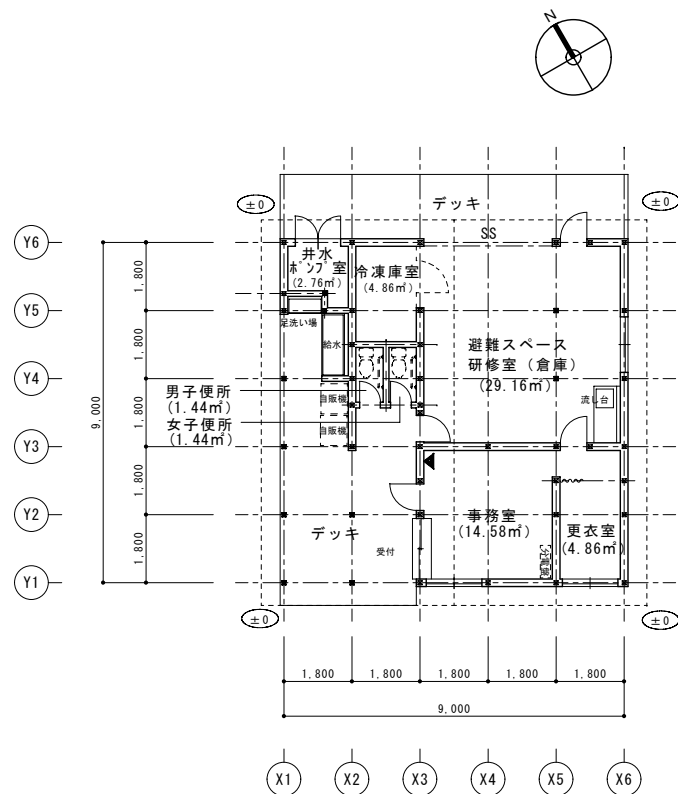


基礎	F P板 t30打込みの上、樹脂モルタルt20	デッキ	コンクリート金コテ 床目地カッター (W5xH5) @3,600×3,600程度 コーナー:ノンスリップS U S金物	断熱材 外壁	グラスウール t100 24kg 外側透湿防水シート (タイベック同等品) 内側防湿シート (ポリフィルム t0.1)
外壁	構造用合板 (O S B) t9、透湿防水シートt0.2、通気胴縁45×18、木調サイディング張 t16			小屋裏	グラスウール吹込 t200 18kg 防湿シート (ポリフィルム t0.1)
軒天井	フレキシブル板 t6 素地、外周軒裏換気ガラリ・その他は塩ビ製見切り	建具	木製建具、アルミ製建具	斜め天井	グラスウール敷込 t 50 32kg、透湿防水シート (タイベック同等品)
屋根	垂木:60×45@450、コンパネt12、透湿防水シート、通気胴縁:24×45@450 耐水合板t12、アスファルト・フィング 940、ガルバリウム鋼板t0.4 防水蟻掛葺き けらば:ガルバリウム鋼板t0.4包み			その他	土間下: F P板 t50打込、敷込 防湿シート (ポリフィルム t0.15) 立上り F P板 t30打込、ラス入り樹脂モルタルt20
				外部フード	アルミ製セルフフード150φ (アルミ色) 防虫網付 (+換気孔150φ) 4ヶ所

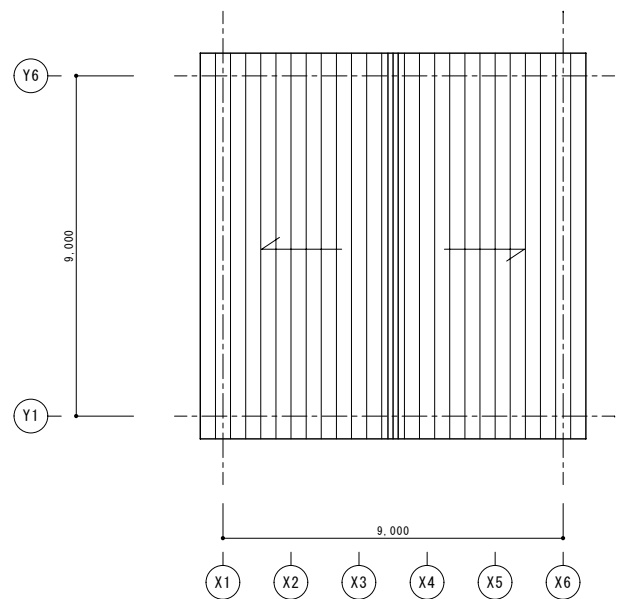
室名	床	巾 木 木製巾木 t9 WUC	壁 タテ105×45@450 ヨコ45×18@450 ボードのジョイントは突付け	天 井 廻り縁：塩ビ製 ボードのジョイントは突付け	備考	天井高
研修室（倉庫）	コンクリート金コテ 床目地カッター (W5×H5) @3,600×3,600程度	木製巾木 H=100	○S B板t9 素地（目透し貼） 一部、コンクリート打放し	シナ合板（難燃）t5.5 素地	流し台L=1,650、ライニング、換気孔150Φ	直天
冷凍庫室	コンクリート金コテ				ブレハブ冷蔵庫	2,400
井水ポンプ室	コンクリート金コテ	木製巾木 H=100	○S B板t9 素地（目透し貼） 一部、コンクリート打放し	シナ合板（難燃）t5.5 素地	換気孔150Φ	直天
事務室	コンクリート金コテ 床目地カッター@3,600×3,600程度	木製巾木 H=100	○S B板t9 素地（目透し貼） 一部、コンクリート打放し	シナ合板（難燃）t5.5 素地	受付カウンター、換気孔150Φ	2,400
更衣室	コンクリート金コテ	木製巾木 H=100	○S B板t9 素地（目透し貼） 一部、コンクリート打放し	シナ合板（難燃）t5.5 素地	カーテンレール（S）、換気孔150Φ	2,400
男子便所	ノンスリップ床シートt2.5	ビニル巾木 H=100	石こうボードt9.5下地、化粧繊維強化セメント板t5 一部、コンクリート打放し	化粧けい酸カルシウム板t6	L型手摺：軟質塩ビパイプ40Φ	2,400
女子便所	ノンスリップ床シートt2.5	ビニル巾木 H=100	石こうボードt9.5下地、化粧繊維強化セメント板t5 一部、コンクリート打放し	化粧けい酸カルシウム板t6	L型手摺：軟質塩ビパイプ40Φ	2,400



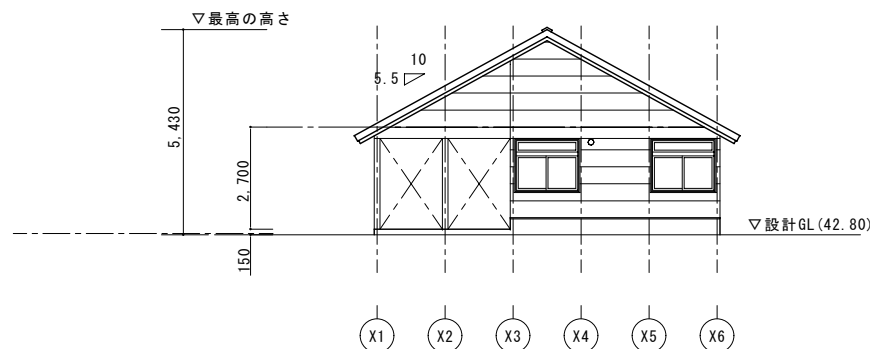
図番 207 / A



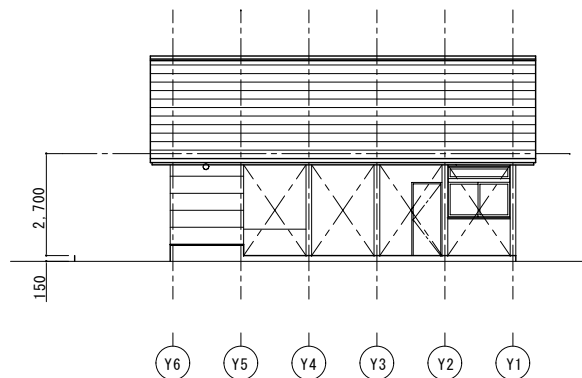
平面図 1:100 ▼ 消火器（半埋込み型）



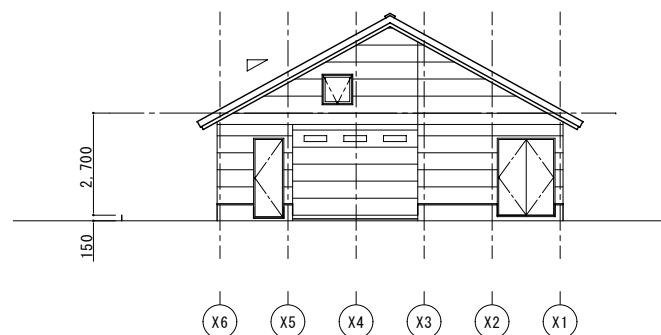
屋根伏図 1:100



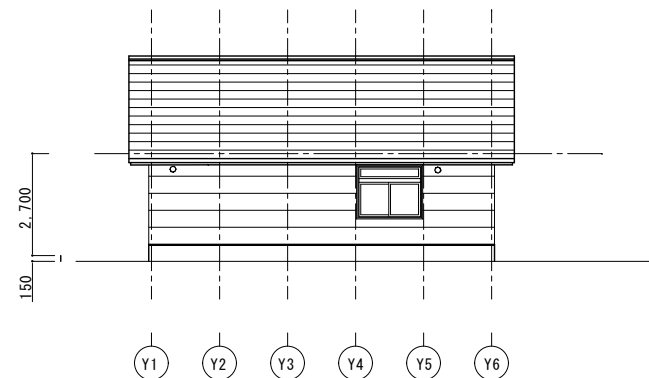
南立面図 1:100



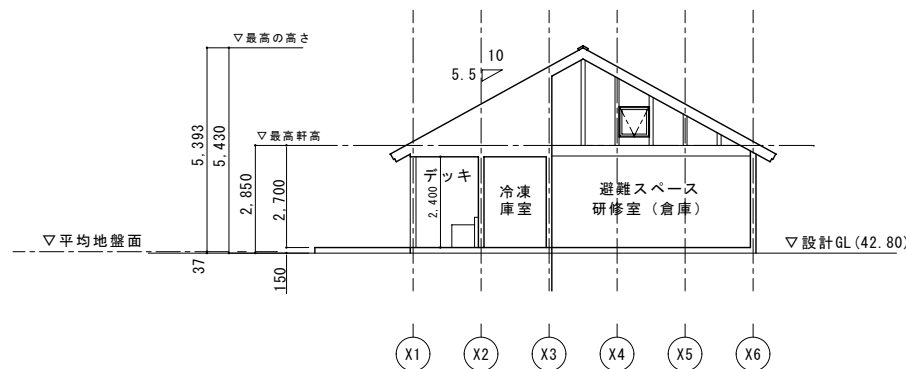
西立面図 1:100



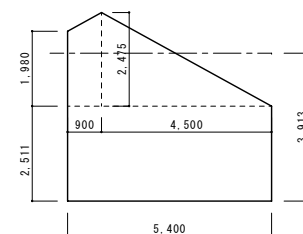
北立面図 1:100



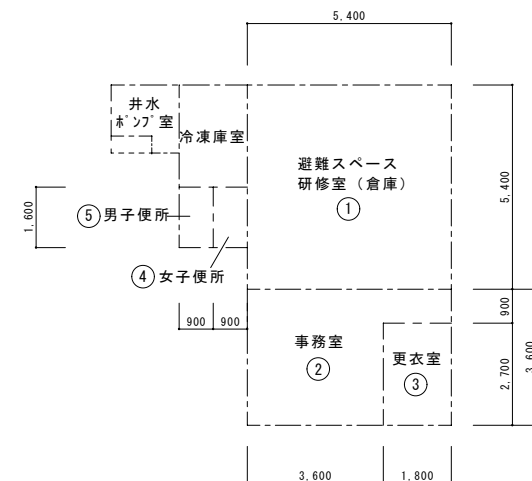
東立面図 1:100



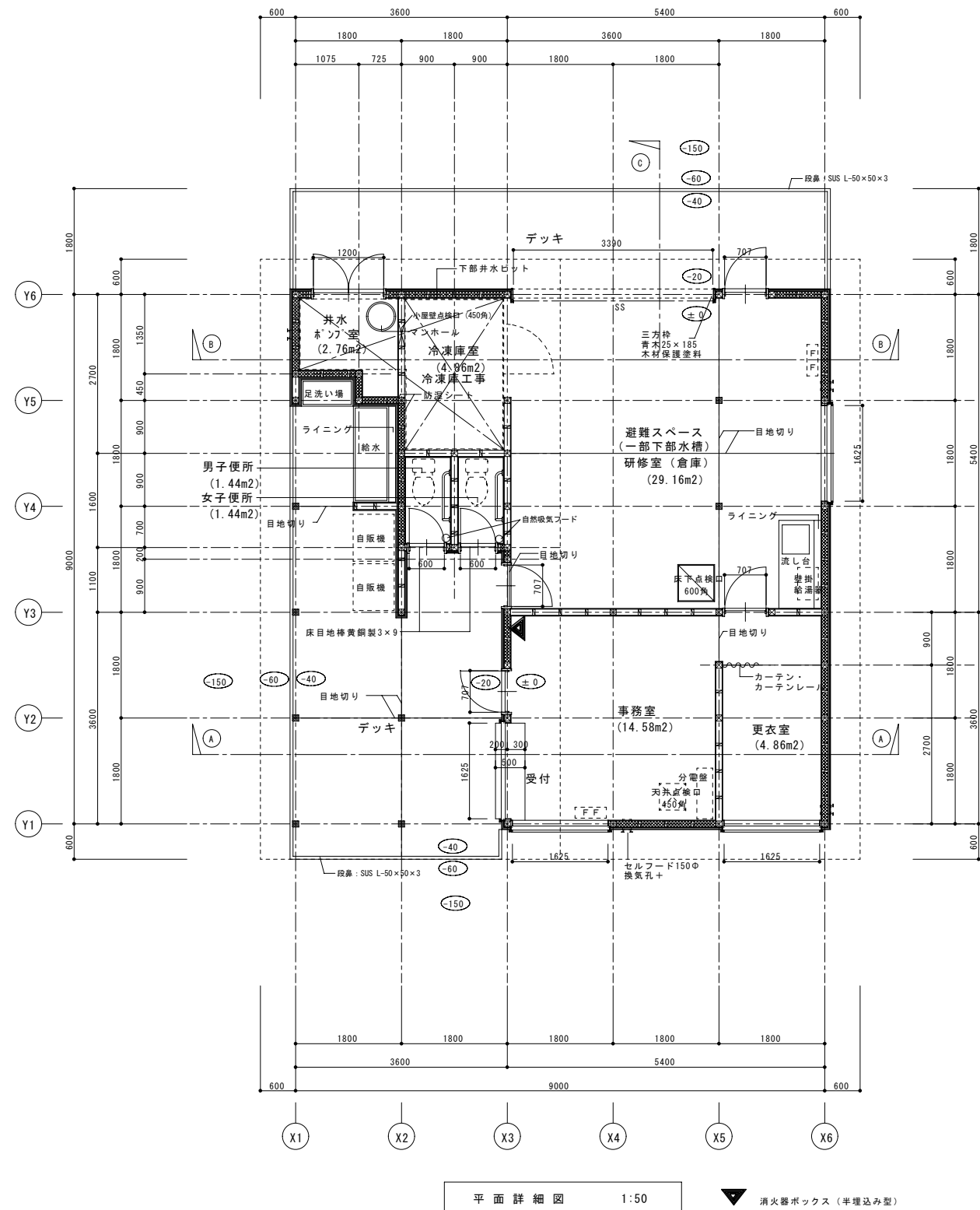
断面図 1:100



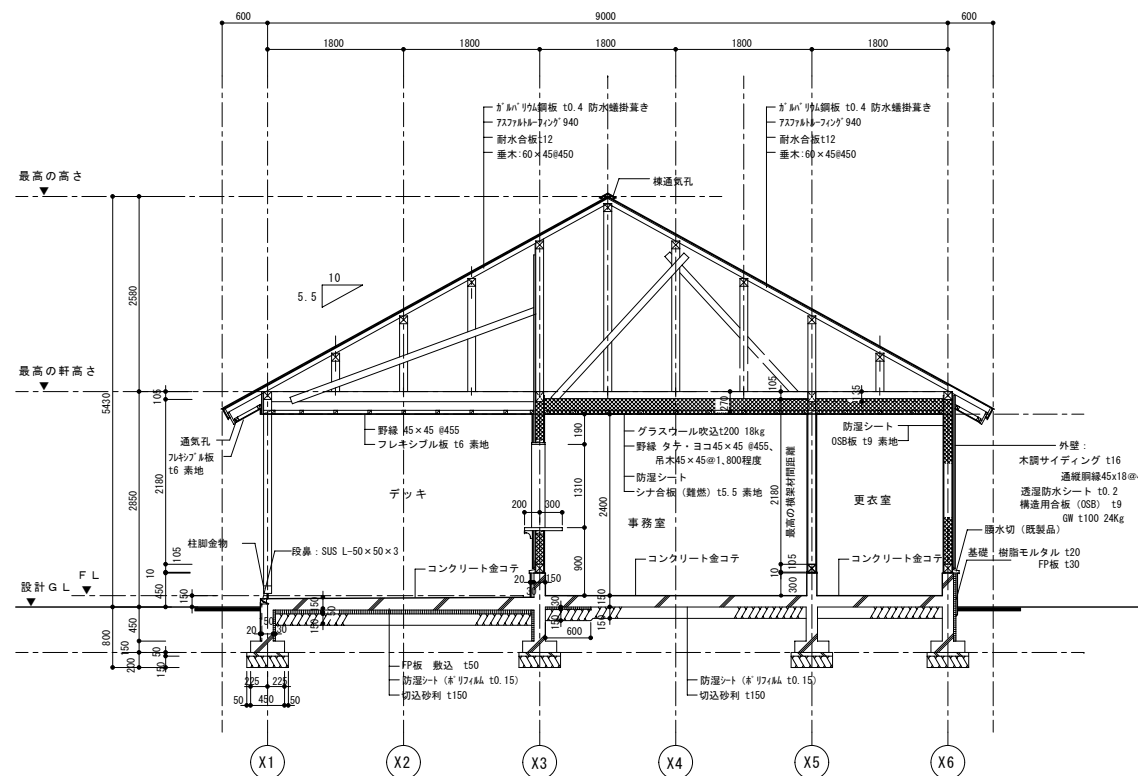
避難スペース・研修室（倉庫）
5.4×2,511+4.5×2,475+0.5×(1.98+2,476)×0.9×0.5=21.13
平均天井高 21.13/5.4=3.913



■各室面積算定式 小数以下第3位四捨五入 (㎡)				
①	5.4	×	5.4	= 29.16
②	3.6	×	3.6+1.8	= 14.58
③	1.8	×	2.7	= 4.86
④	1.6	×	0.9	= 1.44
⑤	1.6	×	0.9	= 1.44

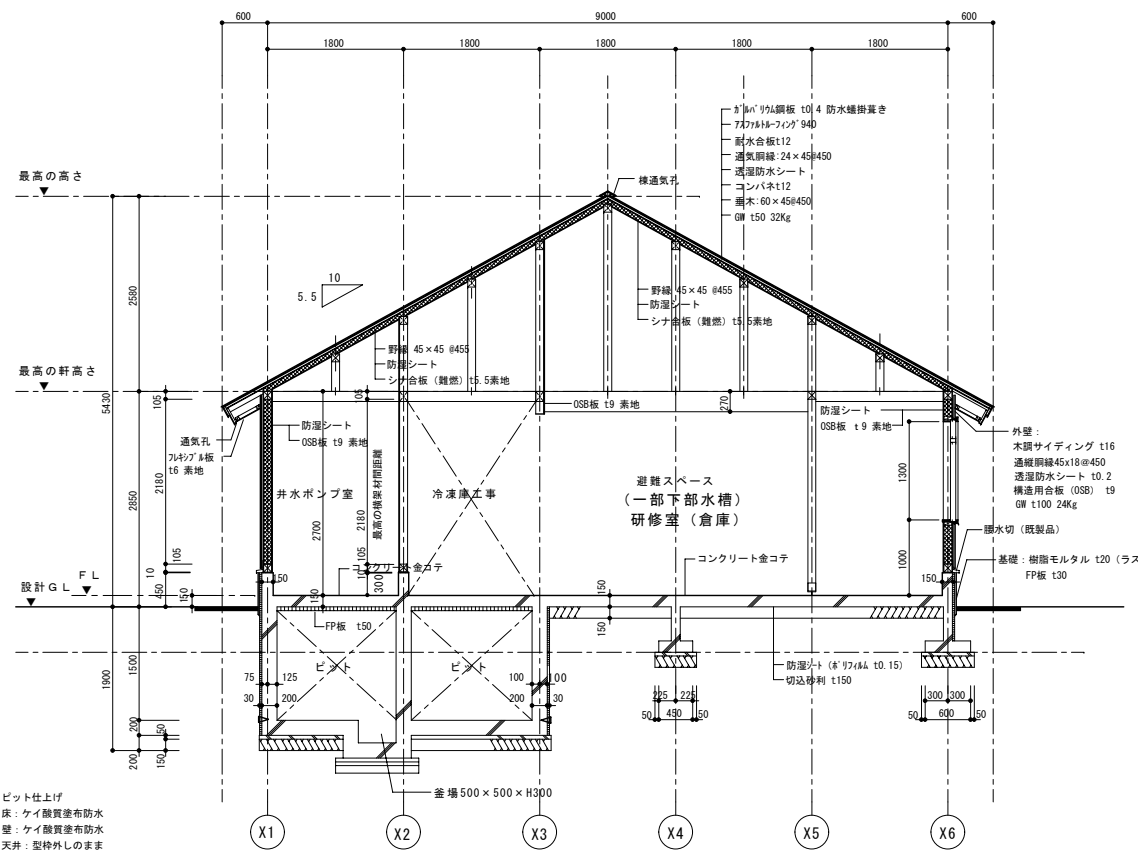


平面詳細図 1:50

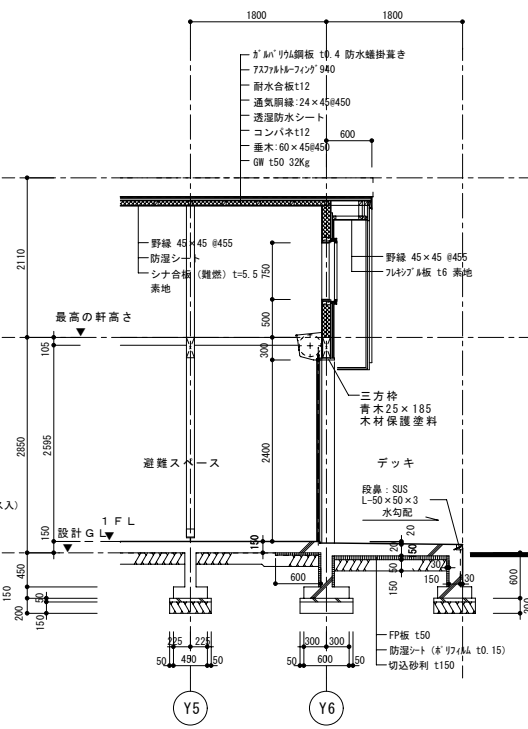


矩計図 A-A 1:50

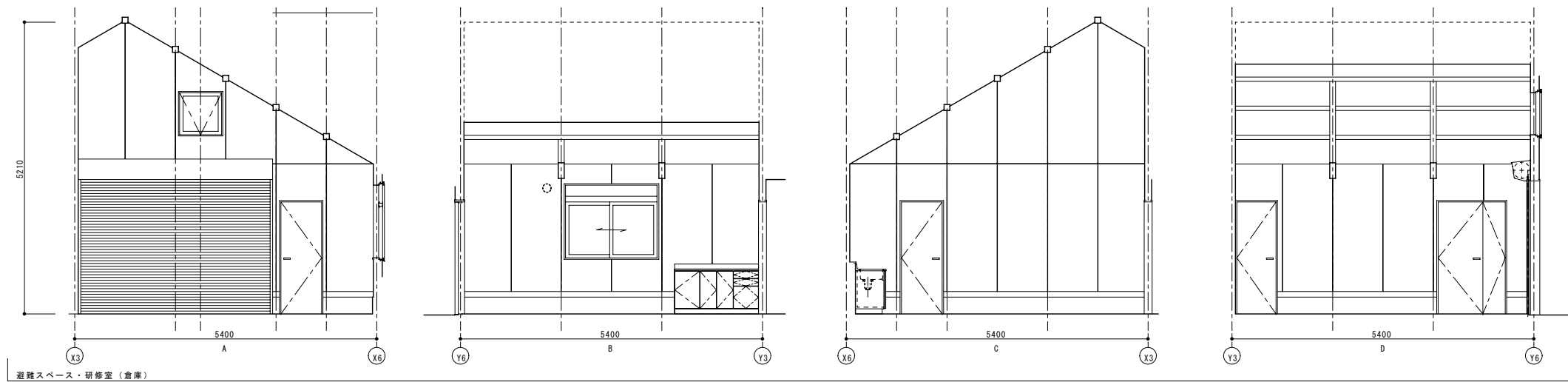
屋根断熱
天井断熱



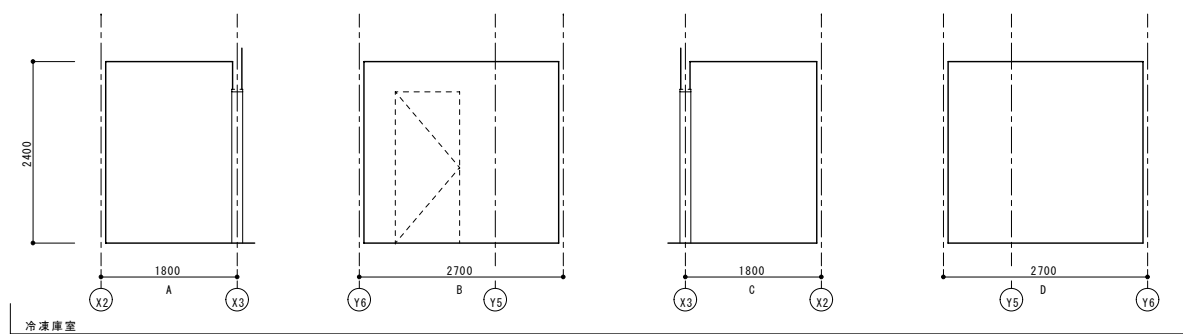
矩計図 B-B 1:50



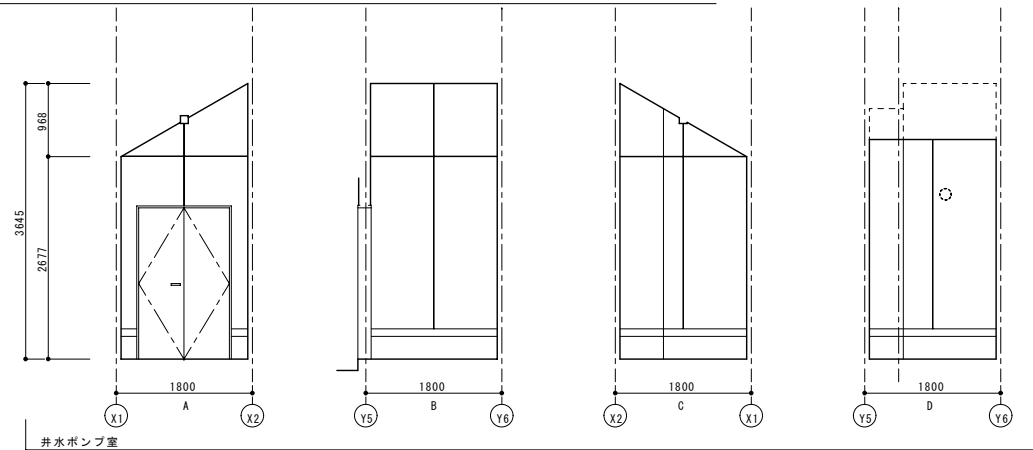
矩計図 C-C 1:50



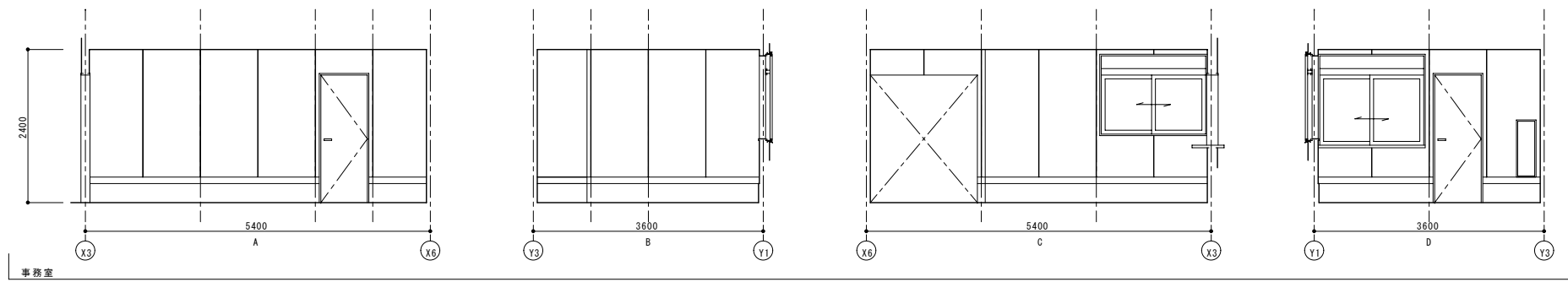
避難スペース・研修室（倉庫）



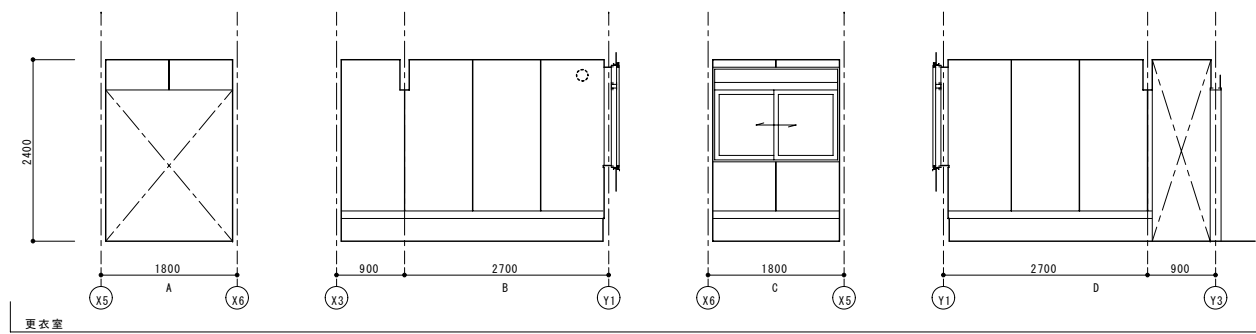
冷凍庫室



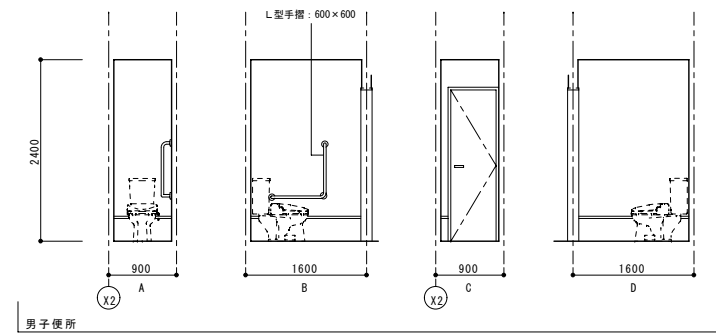
井水ポンプ室



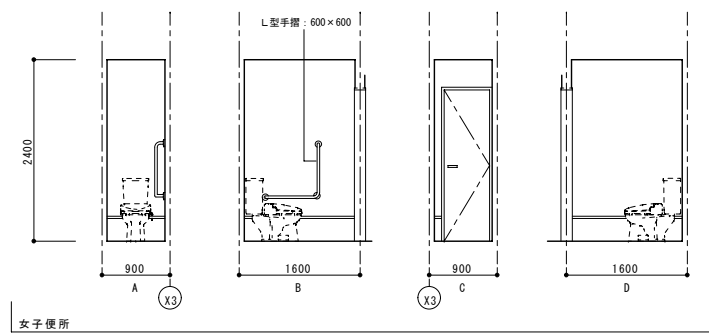
事務室



更衣室



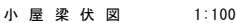
男子便所



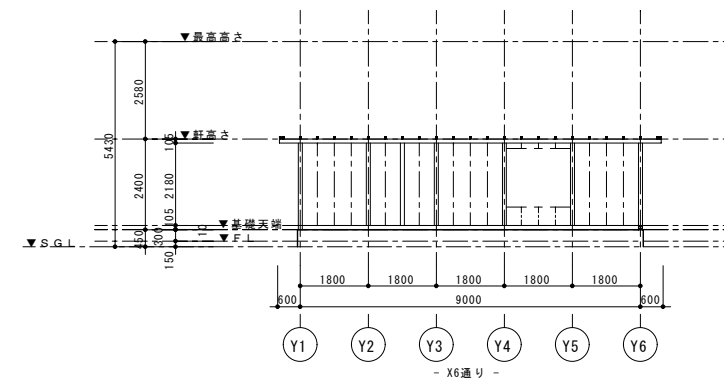
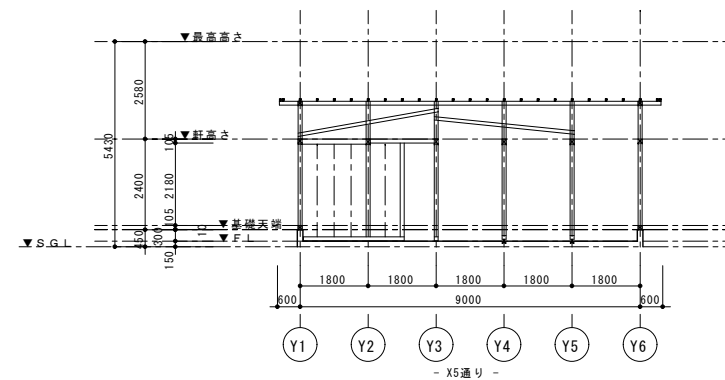
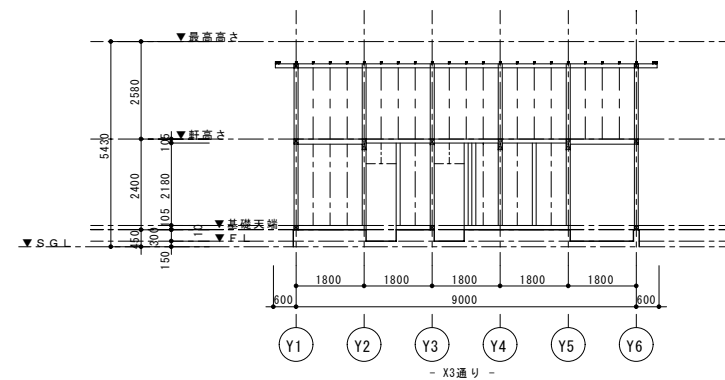
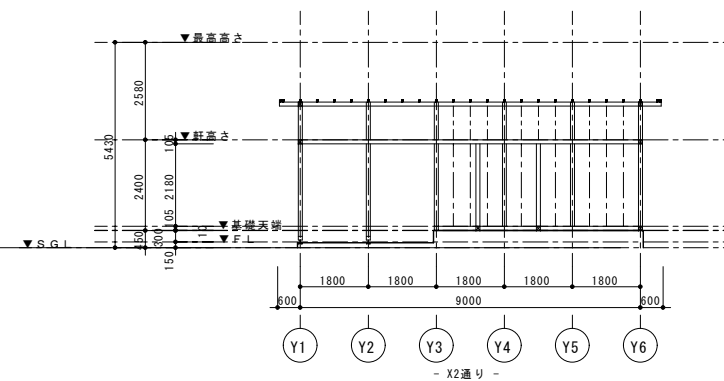
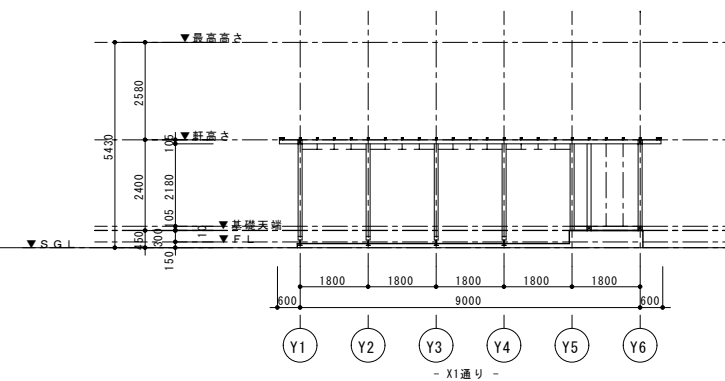
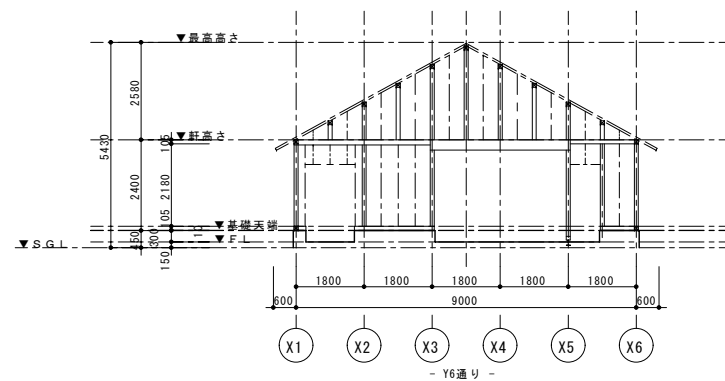
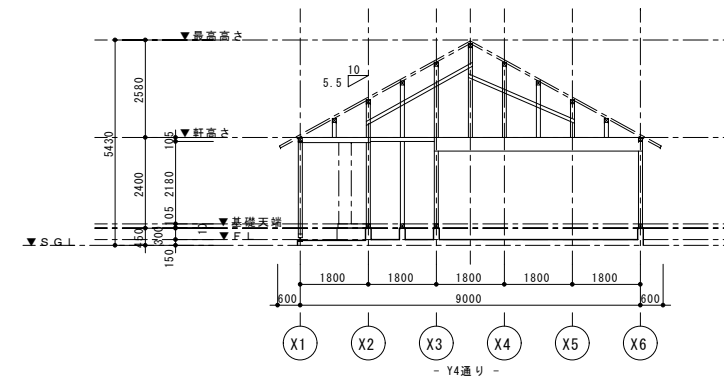
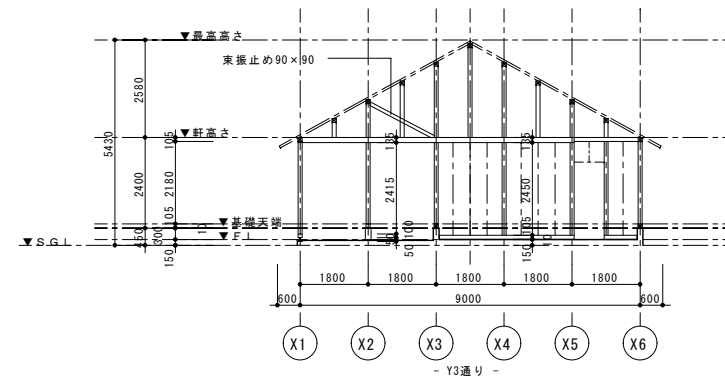
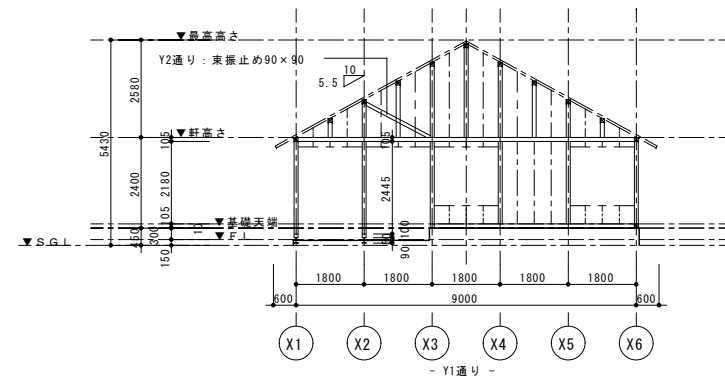
女子便所



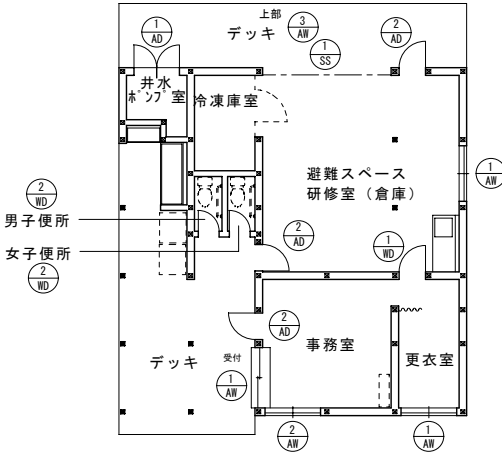
凡 例 (天井伏図)	
(イ)	フレキシブル板 15 素地
(ロ)	シナ合板(難燃) 15.5 素地
(ハ)	化粧付け・撥カシウム板 16
(ニ)	木部隠し
—— —	水切 (既製品)
	張り切・塩ビ装
- - - - -	既製軒架換気ガラリ
	天井点検口 450 x 450
天井付縁	タチ45 x 45 x 450 ヨコ45 x 45 x 450



凡例・部材リスト（土台・梁・小屋伏図）		
土台		105×105 A ボルト #1,800 L=600
柱		105×105
		現し化粧柱 105×105
桁・頭ツナギ		105×105
火打梁		105×105 ボルト締メ
母屋		特記なき場合 105×105 #900
束		105×105
垂木		60×45 #450
筋カイ		構造用合板 t=9
		特記なき梁 105×105
G1		105×135
G2		105×270
G3		105×300 集成材
G4		105×210
間柱		105×45 #450
特記事項 金物：Z マーク表示金物（同等品）を使用すること 土台：防腐剤注入（ケラロピリポリス混入不可） 柱：H=1,000 まで防腐剤塗布 木部現し：WUC（屋外は木材保護着色塗料クリア） 金物は建設省告示1460号によるものを使用すること。		



符合・個数	① 1部	1	② 1部	2							
室名	事務室		男子便所、女子便所								
形態											
見込	36		36								
形式	片開きフラッシュドア		片開きフラッシュドア								
材種	シナ合板		シナ合板								
仕上	WUC		WUC								
硝子											
金物	SUS丁番125mm 2枚、レバーハンドル錠、CL(本)、戸当り		SUS丁番125mm 2枚、レバーハンドル錠、CL(本)、戸当り								
備考			表示錠、明かり窓(既製品)φ40 下部モヘア付								
符合・個数	① AW	3	② AW	1	③ AW	1			① SS	1	
室名	更衣室、研修室、事務室		事務室		研修室				研修室		
形態	半外付けサッシ		半外付けサッシ		半外付けサッシ						
見込	70		70		70						
形式	引違いガラス窓		外側しランマ付引違いガラス窓		外側しガラス窓				軽量シャッター(電動)		
材種	アルミニウム		アルミニウム		アルミニウム				スチールt0.8		
仕上	アルマイト		アルマイト		アルマイト				焼付塗装(標準色)		
硝子	C3		C3		C3						
金物	付属金物一式、クレセント		付属金物一式、クレセント、オペレーター、水切W=85、結露受		付属金物一式、オペレーター				CL、SUSガイドレール、SUS座板、シャッターケース		
備考	ロール網戸付、水切W=85、結露受		ロール網戸付、水切W=85、結露受		水切W=85、結露受				ゴム付き(厚手)、電動開閉装置一式		
符合・個数	① AD	1	② AD	3							
室名	井水ポンプ室		事務室、研修室								
形態											
見込	70		70								
形式	両開きドア		片開きドア								
材種	アルミニウム		アルミニウム								
仕上	アルマイト ドア:アルミアルマイト		アルマイト ドア:アルミアルマイト								
硝子											
金物	付属金物一式、CL(本)、表示錠、水切W=85		付属金物一式、CL(本)								
備考											
略号	材種 S : スチール A : アルミニウム W : 木 製 G : ガラリ AEP : アクリル樹脂エナメル	種別 W : 窓 D : ドア S : シャッター	仕上 OP : 油性顔料ペイント SOP : 合成樹脂顔料ペイント VP : 塩化ビニール樹脂エナメル EP-G : 合成樹脂エマルジョンペイント AEP : アクリル樹脂エナメル	CL : クリヤーラッカー UP : ウレタン樹脂ウニス QSV : オイルステイン O S V V : オイルステインニス HL : ヘアライン	硝子 C : トウメイ F : 型紙 Y : 強化 PW : 熱入ミガキ RW : ラフワイヤー		CL : シリンダー錠 CL(本) : シリンダー本鎖錠 FH : フロアーヒンジ FL : フランス流し DC : ドアチェック	※特記事項 枠見付 建具見付			



建具配置図 1:100

法規チェック(採光)

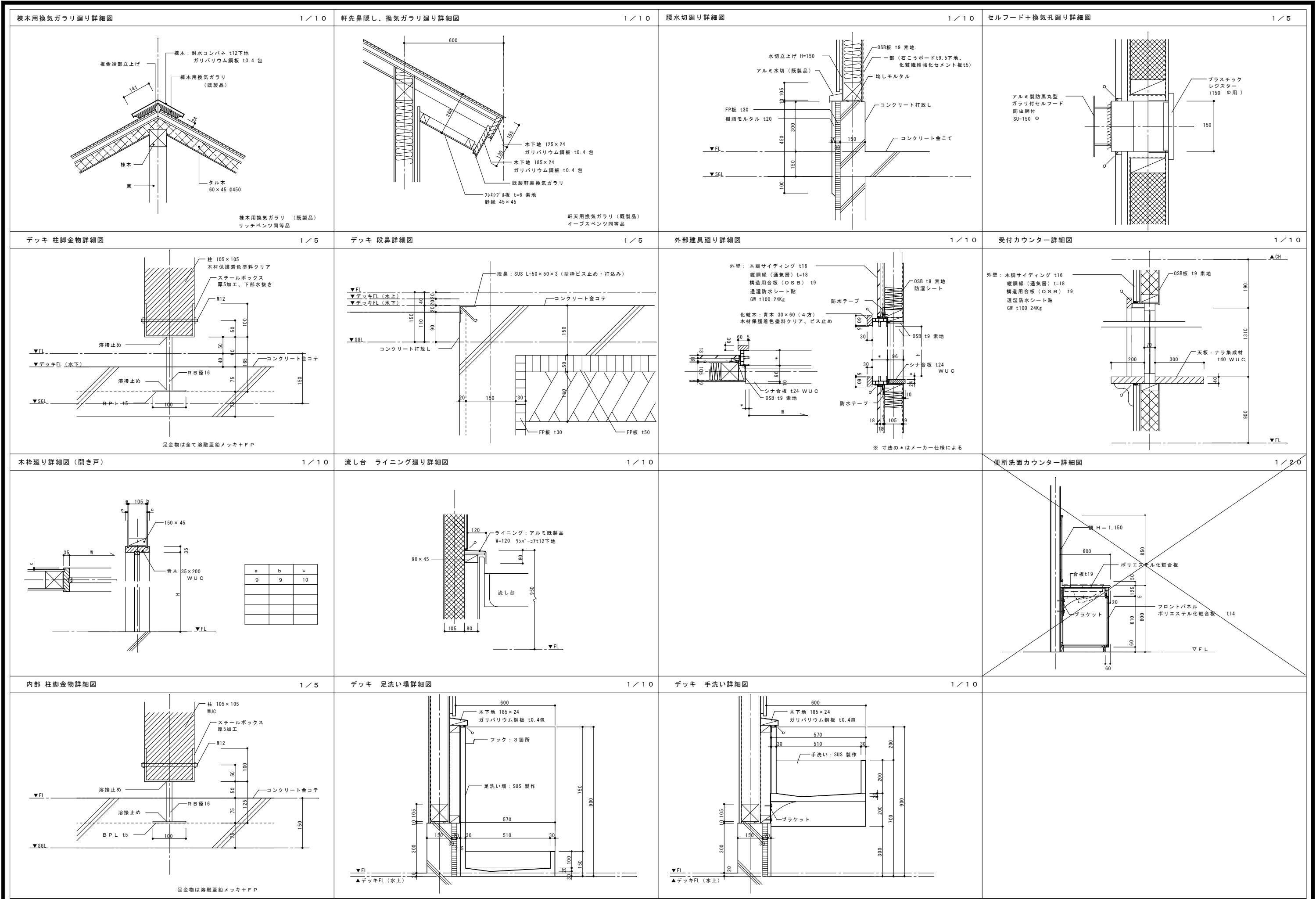
室名	居室面積 S	必要採光面積	有効採光面積
事務室		対象外	

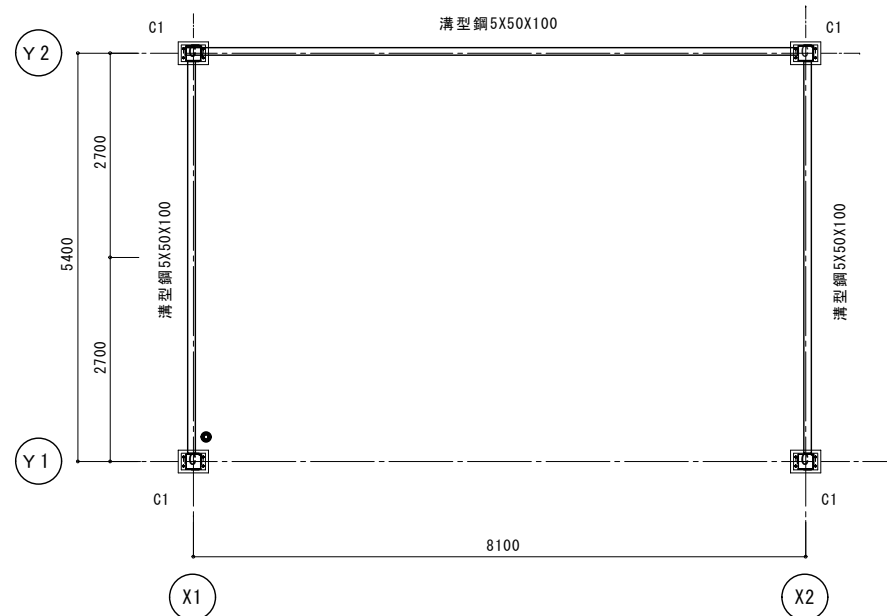
(換気)

室名	居室面積 S	必要換気面積 1/20	有効換気面積
事務室	3.6×3.6=12.96㎡	12.96㎡/20=0.65㎡	AW-2 0.30×1.52+1.62×0.91×0.5=1.19㎡ ∴OK

(排煙 令116-2 排煙上の無窓の居室のチェック)

室名	居室面積 S	必要排煙面積 1/50	有効排煙面積
事務室	3.6×3.6=12.96㎡	12.96㎡/50=0.26㎡	AW-2 0.30×1.62=0.49㎡ ∴OK



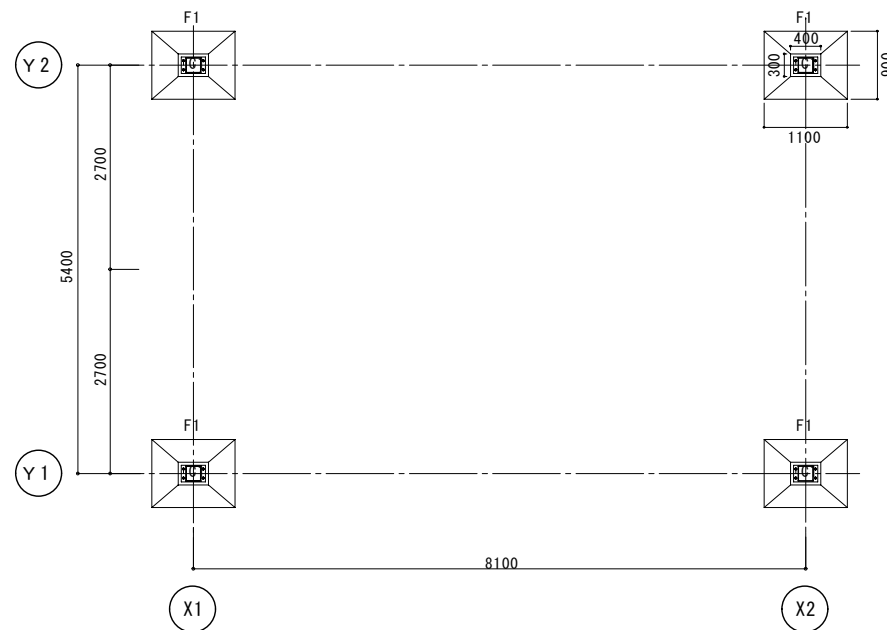


平面図

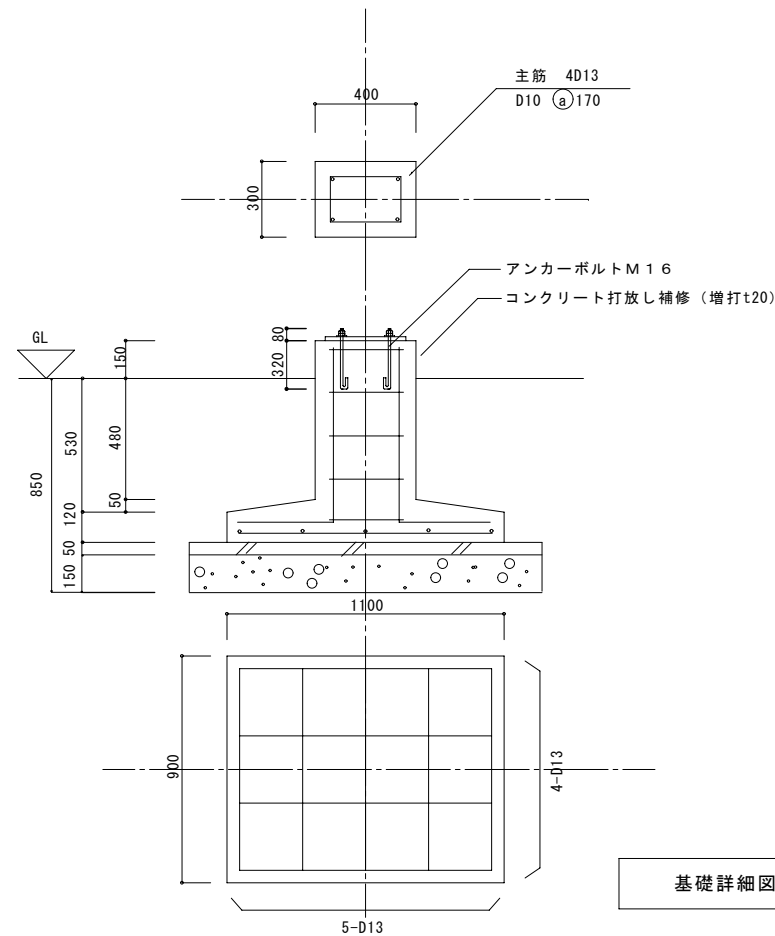
● 消火器（置き型）
（備品）

建築面積 $8.10 \times 5.40 = 43.74$
床面積 $8.10 \times 5.40 = 43.74$

(m^2)



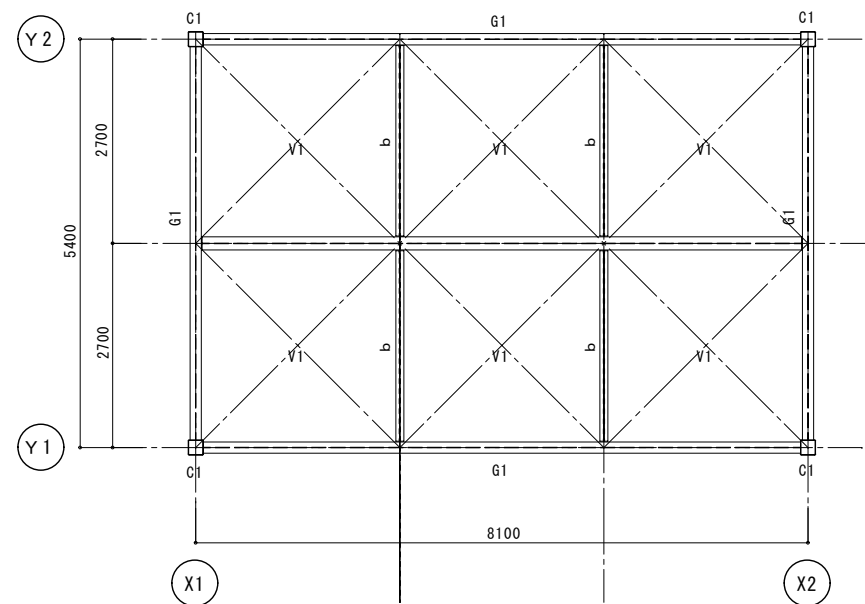
基礎伏せ図



基礎詳細図

*特記事項

- 柱脚アンカーボルトの径は、M16以上とする。
- アンカーボルトのコンクリートへの定着長さは、320mm以上とする。
(日本建築学会鋼構造接合部設計指針による。)
 $20d = 20 \times 16 = 320\text{mm}$
(d: アンカーボルト径)
- アンカーボルトの全長は、400mm程度とする。
($320 + 80 = 400$)

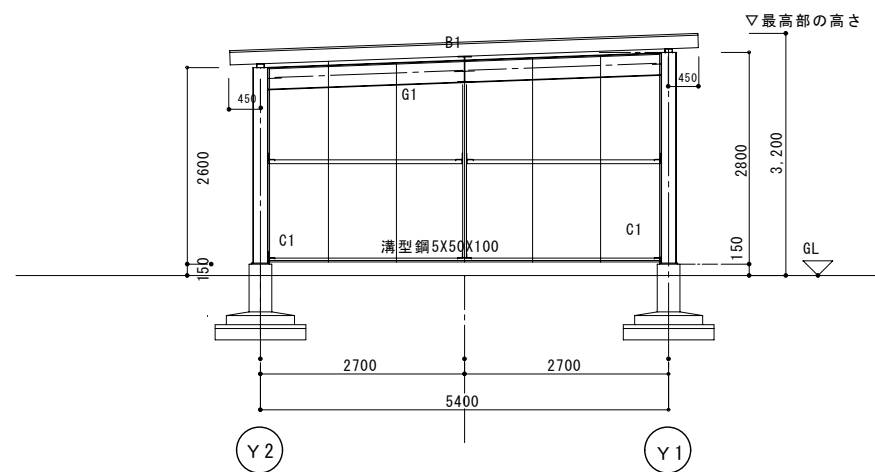


小屋伏せ図

仕上表

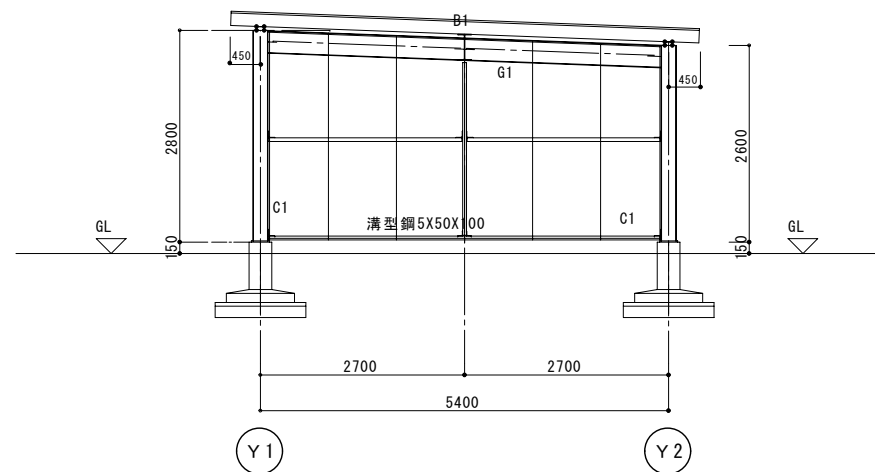
床	(土間)
腰壁	コンクリート打放し補修 (増打t20)
壁	鉄骨現し (防風ネット別途)
天井	折板現し及び鉄骨現し
柱基礎	コンクリート打放し補修 (増打t20)

補助対象



軸組図 X1通り

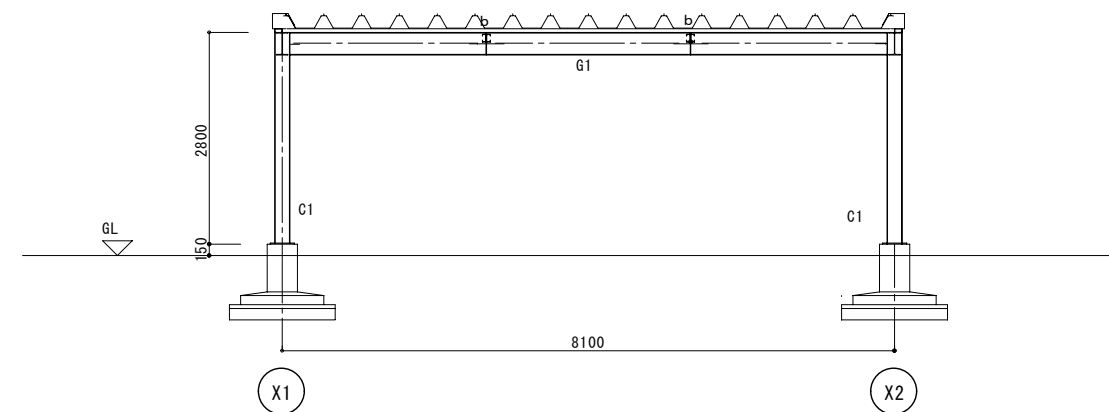
平均天井高
(2,600+2,800)*0.5=2,700



軸組図 X2通り

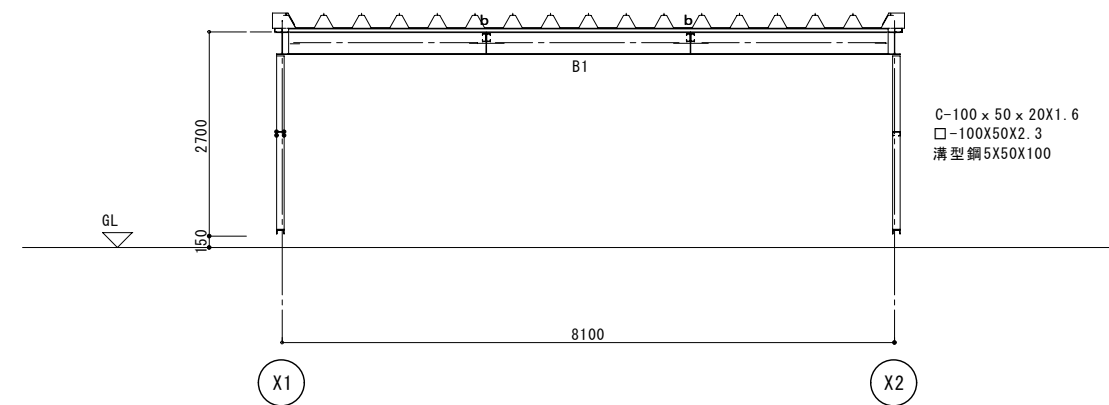
部材リスト

C1	□-200X200X6	仕上げ 溶融垂鉛メッキ仕上げ
G1	H-300X150X6.5X9	仕上げ 溶融垂鉛メッキ仕上げ
B1	H-346X174X6X9	仕上げ 溶融垂鉛メッキ仕上げ
b	2C-100X50X20X1.6	仕上げ 溶融垂鉛メッキ仕上げ
下胴縁	溝型鋼 5X50X100	仕上げ 溶融垂鉛メッキ仕上げ
中胴縁	C-100X50X20X1.6	仕上げ 溶融垂鉛メッキ仕上げ
P	□-100X50X2.3	仕上げ 溶融垂鉛メッキ仕上げ
V1	13φ	仕上げ 溶融垂鉛メッキ仕上げ



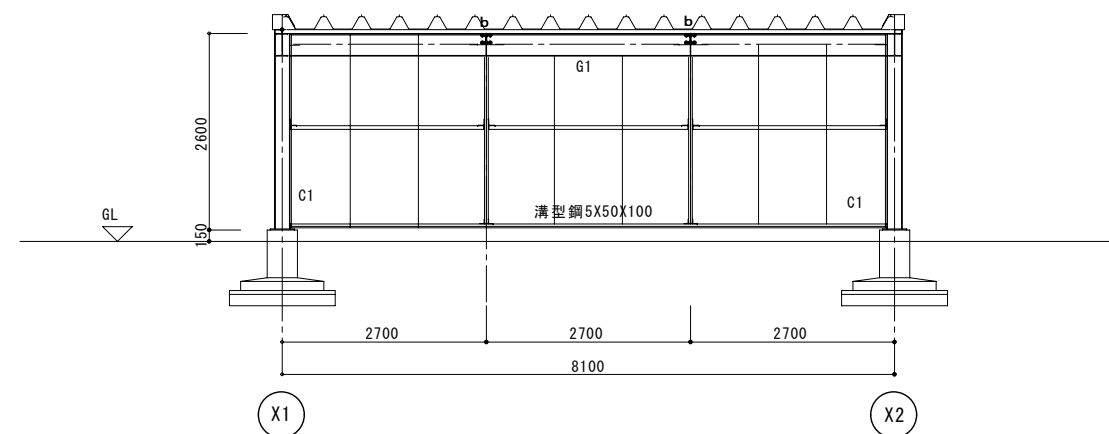
軸組図 Y1通り

屋根 折板 (雪印2型) ア 0.8mm GLカラー

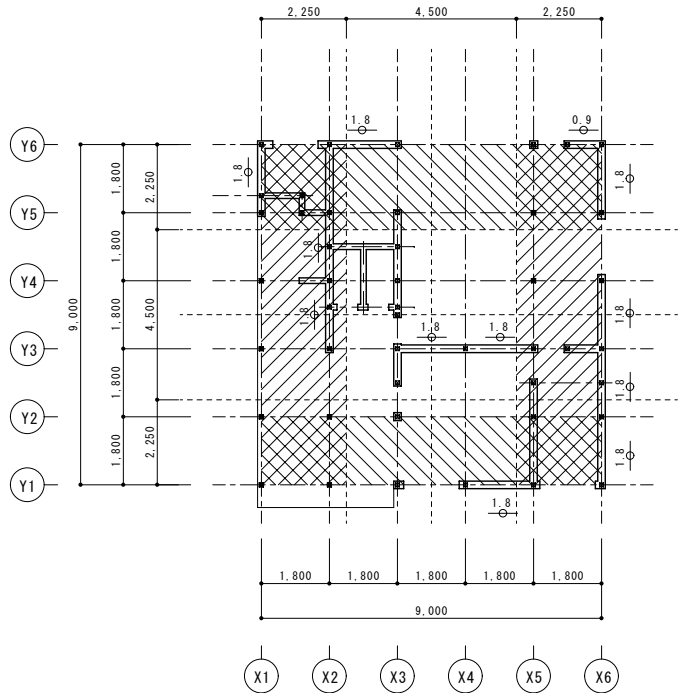


軸組図 Y1-Y2間

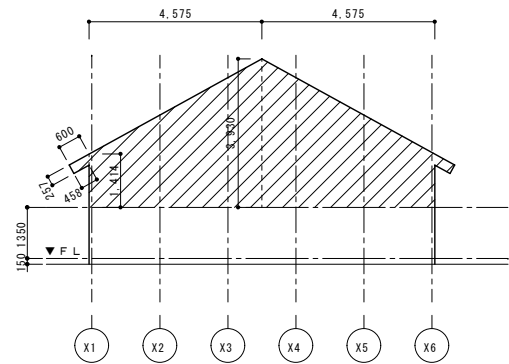
C-100 x 50 x 20X1.6
□-100X50X2.3
溝型鋼5X50X100



軸組図 Y2通り

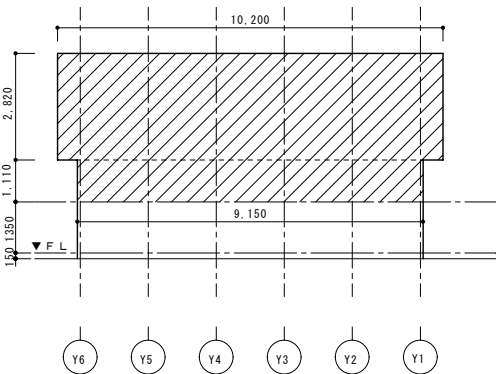


軸組平面図 1:100



Y方向見付面積 1:100

見付面積
(0.458+0.60) × 0.257+
(1.414+3.93) × 4.575=24.58
24.58㎡→25㎡

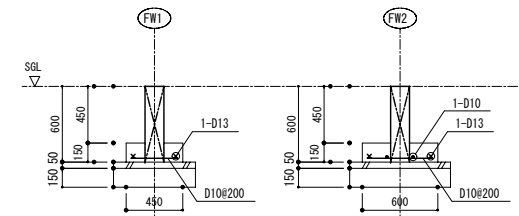
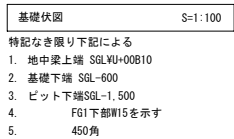


X方向見付面積 1:100

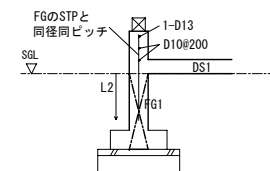
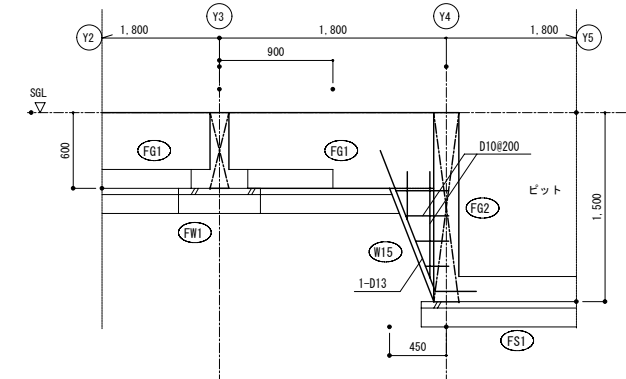
見付面積
(10.20×2.82) + (9.15×1.11) =38.92
38.92㎡→39㎡

床面積		68.04 m ²	屋根：長尺カラー鉄板				0.7	外壁：木調サイディング			
見付面積			X 方向： 39 m ²				Y 方向： 25 m ²				
地震力必要軸組計算			風圧力必要軸組計算								
平	X Y 方向		X 方向				Y 方向				
	地震力有効軸組量		風圧力必要軸組量				風圧力必要軸組量				
	床 面 積 x15 (cm/m ²)		X 方向見付面積 x 5 0 (cm/m ²)				Y 方向見付面積 x 5 0 (cm/m ²)				
	(A) : 10.21m		(B) : 19.50 m				(C) : 12.50 m				
	有効軸組量	仕様軸組の種類	軸組長さ	カ所	倍率	有効軸組量 (m)	軸組長さ	カ所	倍率	有効軸組量 (m)	
		構造用合板 t9	1.80	4	2.5	18.00	1.80	7	2.5	31.50	
		構造用合板 t9	0.90	1	2.5	2.25					
		計				20.25				31.50	
判 定		(A) 0r (B) < 10.21 19.50 20.25 ○ K				(A) 0r (C) < 10.21 12.50 31.50 ○ K					

平	算定部位		1 階 上				1 階 右			
	必要軸組量		0.15 × 20.25 = 3.04				0.15 × 20.25 = 3.04			
	有効軸組量	仕様軸組の種類	軸組長さ	カ所	倍率	有効軸組量 (m)	軸組長さ	カ所	倍率	有効軸組量 (m)
		構造用合板 t9	1.80	1	2.5	4.50	1.80	4	2.5	18.00
		構造用合板 t9	0.90	1	2.5	2.25				
		計				6.75				18.00
	充 足 率		6.75 / 3.04 = 2.22 > 1.0 OK				18.00 / 5.10 = 3.53 > 1.0 OK			
	算定部位		1 階 下				1 階 左			
	必要軸組量		0.15 × 20.25 = 3.04				0.15 × 20.25 = 3.04			
	有効軸組量	仕様軸組の種類	軸組長さ	カ所	倍率	有効軸組量 (m)	軸組長さ	カ所	倍率	有効軸組量 (m)
構造用合板 t9		1.80	1	2.5	4.50	1.80	1	2.5	4.50	
計					4.50				4.50	
充 足 率		4.50 / 3.04 = 1.48 > 1.0 OK				4.50 / 3.04 = 1.48 > 1.0 OK				
		壁率比 2.22/1.48=1.5>0.5								
		壁率比 5.92/1.48=4.0>0.5								



符 号	W15	
断 面		
タテ筋	D10@200	
ヨコ筋	D10@200	

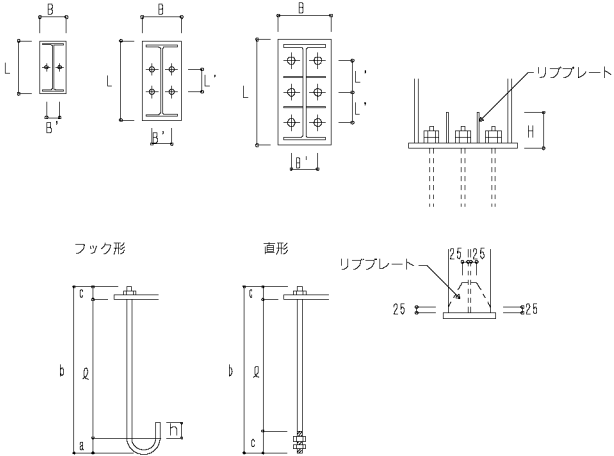


H形鋼柱脚表

使用	鋼材サイズ	ベースプレート			アンカーボルト				リブプレート	
		板厚	B	L	径	本数	B'	L'	板厚	H
	H-150×75×5×7	9	200	190	16	2	100	-		
	H-198×99×4.5×7									
	H-200×100×5.5×8	12	180	250	16	2	100	-		
	H-248×124×5×8									
	H-250×125×6×9	12	180	300	16	4	110	100		
	H-298×149×5.5×8									
	H-300×150×6.5×9	16	200	300	20	4	120	130		
	H-346×174×6×9									
	H-350×175×7×11	19	225	410	20	4	145	180		
	H-398×199×7×11									
	H-400×200×8×13	22	250	460	20	4	160	180		
	H-446×199×8×12									
	H-450×200×9×14	25	250	540	22	4	180	210		
	H-498×199×9×14									
	H-500×200×10×16	25	250	590	24	4	190	250	9	200
	H-596×199×10×15									
	H-600×200×11×17	25	250	700	24	4	180	300	12	250
	H-606×201×12×20									
	H-682×300×11×15	25	350	590	24	4	210	230	12	250
	H-688×300×11×18									
	H-692×300×12×17	25	350	690	24	4	210	285	12	250
	H-698×300×12×20									
	H-692×300×13×20	28	350	800	24	6	210	200	12	250
	H-700×300×13×24									
	H-792×300×14×22	32	360	920	28	6	220	250	12	250
	H-800×300×14×26									
	H-890×299×15×23	32	360	1,020	28	6	220	280	12	250
	H-900×300×16×26									
	H-100×100×8×8	9	200	190	16	2	100	-		
	H-125×125×8.5×9	12	165	185	16	2	95	-		
	H-150×150×7×10	16	190	220	20	2	120	-		
	H-175×175×7.5×11	19	220	255	22	2	140	-		
	H-200×200×8×12	19	250	280	16	4	180	80		
	H-250×250×9×14	22	300	340	20	4	190	100		
	H-300×300×10×15	25	350	400	22	4	220	130		
	H-350×350×12×19	28	410	470	24	4	250	150		
	H-400×400×13×21	28	470	530	28	4	310	180		
	H-300×200×8×12	22	250	380	22	4	180	130		
	H-350×250×9×14	22	300	440	22	4	190	160		
	H-400×300×10×16	25	350	500	24	4	210	200		
	H-446×300×11×18	28	360	560	28	4	220	210		
	2C-100×50×20× 1.6 3.2	9	150	120	16	2	75	-		

アンカーボルト標準寸法

ボルト径	フック形					直形		
	a	c	d	b	h	c	d	b
M16	32	80	500	612	65			
M20	40	80	600	720	80			
M22	44	80	650	774	90	80	650	810
M24	48	100	700	848	100	100	700	900
M28						100	900	1,100



山形鋼筋かい

(鋼材：SS400、高力ボルト：S10T)

使用	部 材	高力ボルト	ガセットプレート			
			厚さ (mm)	隅肉サイズ (mm)	L	必要溶接長 (mm) (L=15)
シングル	L-85×85×8	5-M16	6	4.5	16	9
	L-75×75×6	4-M16	6	4.5	18	10
	L-75×75×8	5-M16	9	4.5	26	14
	L-75×75×12	5-M16	12	6	26	14
	L-80×80×7	4-M16	9	6	20	11
	L-90×90×10	5-M20	12	6	26	14
	L-90×90×13	5-M20	16	9	23	13
	L-100×100×7	4-M20	9	6	22	12
	L-100×100×10	4-M20	12	6	21	11
	L-100×100×13	5-M20	16	6	26	14
ダブル 背中 合わせ	2L-85×85×8	5-M16	9	6	35	18
	2L-75×75×8	4-M16	9	6	30	16
	2L-75×75×9	4-M22	12	9	40	21
	2L-75×75×12	5-M20	19	10	42	22
	2L-90×90×7	4-M20	12	10	35	20
	2L-90×90×10	5-M20	16	10	43	23
	2L-90×90×13	6-M20	19	12	46	24
	2L-100×100×7	4-M20	12	10	40	21
	2L-100×100×10	5-M22	16	12	43	23
	2L-100×100×13	6-M22	19	12	52	28
ダブル 並列	2L-85×85×8	2×5-M16	9	4.5	30	16
	2L-75×75×8	2×4-M16	9	6	27	14
	2L-75×75×9	2×5-M16	16	6	38	20
	2L-75×75×12	2×5-M16	19	9	34	19
	2L-90×90×7	2×4-M16	12	9	26	14
	2L-90×90×10	2×5-M20	16	9	35	19
	2L-90×90×13	2×5-M20	19	9	44	23
	2L-100×100×7	2×4-M20	12	9	29	16
	2L-100×100×10	2×4-M20	16	9	39	21
	2L-100×100×13	2×5-M20	19	9	49	26

建築用ターンバックル筋かい

ターンバックル筋かいは、JIS A5540、A5541、A5542に準ずる。
ターンバックル筋かいの表記は以下による。

S-ST-S サイズ

S：羽子板ボルト

ST：割く式ターンバックル胴

PT：パイプ式ターンバックル胴

サイズ：ねじの呼び、M12～M33

(鋼材：SS400、高力ボルト：S10T)

ガセットプレート及び取り付けボルトは以下による。

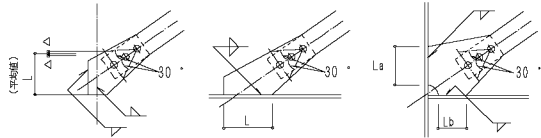
ねじの呼び	M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24	M27	M30	M33
厚さ (mm)	6	6	9	9	9	12	12	12	12	12
必要幅 (mm)	60	70	75	85	85	85	100	100	110	110
隅肉溶接サイズ (mm)	6	6	8	8	8	8	10	10	10	10
必要溶接長 (mm)	タイプ ①	60	60	80	80	80	100	100	114	141
	タイプ ②	42	42	56	56	56	70	70	77	91
	タイプ ③	54	54	72	72	72	90	90	97	111
取り付けボルト	1-M16	1-M16	1-M16	1-M20	1-M20	1-M22	2-M20	2-M20	2-M22	2-M22

H形鋼ピン接合部

使用	鋼材サイズ	ボルト		板厚	備考
		径	本数		
	H - 150×75×5×7	M16	2	6	
	H - 198×99×4.5×7	M16	2	9	
	H - 200×100×5.5×8	M16	2	9	
	H - 248×124×5×8	M20	3	9	
	H - 250×125×6×9	M20	3	9	
	H - 298×149×5.5×8	M20	3	9	
	H - 300×150×6.5×9	M20	3	9	
	H - 346×174×6×9	M20	3	9	
	H - 350×175×7×11	M20	3	9	
	H - 398×199×7×11	M20	4	12	
	H - 400×200×8×13	M20	4	12	
	H - 446×199×8×12	M22	4	12	
	H - 450×200×9×14	M22	4	16	
	H - 498×199×9×14	M22	4	16	
	H - 500×200×10×16	M22	4	16	
	H - 596×199×10×15	M22	5	16	
	H - 600×200×11×17	M22	5	16	
	H - 606×201×12×20	M22	6	16	
	H - 340×250× 9×14	M20	3	12	
	[- 100× 50× 5×7.5	M16	2	6	
	2C - 75×45×15× 1.6 3.2	中ボルト 16	2	6	
	2C - 100×50×20× 1.6 3.2	中ボルト 16	2	6	

＜ガセットプレートの溶接＞

必要溶接長L



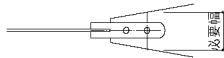
ボルトピッチ及びはしあき

単位 (mm)				
軸径	12	16	20	22
ピッチ	50	60	70	80
はしあき	30	40	50	55

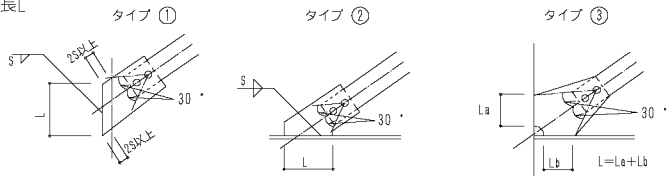
P：ピッチ

φ：はしあき

＜ガセットプレートの溶接＞



必要溶接長L



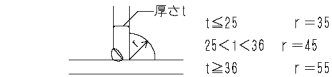
参考

溶接工作上の注意事項

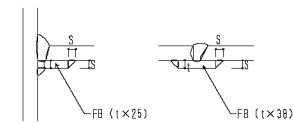
- ・開先加工 自動ガス切断又は機械加工とする。
- ・仮付溶接 仮付溶接は原則としてショートビードをさけ、その長さは特記による。

板厚 (mm)	手溶接・半自動溶接	自動溶接
t<25	40以上	50以上
t≥25	50以上	70以上

- ・予熱 材料の種類、板厚及び母材の温度等により適当な予熱を行う。
- ・のと厚、余盛 突合せ溶接のと厚は母材の厚さ以上とし、余盛は4mm以下とする。
隅肉溶接の場合の余盛は3mm以下とする。
- ・スカラップ スカラップを設ける場合は下記による。



- ・裏はつり 突合せ溶接における両面溶接は原則として裏はつりを行う。
但し、自動溶接において完全溶け込みが得られる場合は、裏はつりを省略しても良い。
- ・裏はつり 片面溶接に用いる裏あて板の溶接は断続隅肉溶接とする。



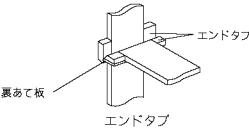
裏あて板寸法 (mm)	溶接のサイズ (mm)
溶接工法	t
手溶接	8以上
半自動溶接	9以上
自動溶接	12以上

裏あて板の寸法及び溶接

- ・段違い 溶接する材の表面の高さに段違いのある場合は、低い方の表面から高い方の表面に滑らかに形状が移行するように溶着金属を盛る。
高さの差が4mmを超えるときは下図による。

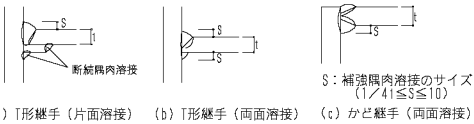


- ・エンドタブ 突合せ溶接及び部分溶込み溶接の両端には、継手と同じ形状の鋳製エンドタブを取り付ける。溶接完了後エンドタブは原則として除去し、グラインダー仕上とする。また、隅肉溶接の場合も突合せ溶接に準じてエンドタブを使用するか、隅角部を廻し、連続してアークを切ることなく廻し溶接をする。エンドタブは、原則として、母材と同厚のものを用い、長さは下記による。



溶接工法	長さ(mm)
手溶接	35以上
半自動溶接	40以上
自動溶接	70以上

- ・補強隅肉溶接 T形継手、かど継手及び部分溶込み溶接の場合には、補強隅肉溶接を付加し、そのサイズは突き合わせる板厚の1/4以上かつ10mm以下とする。



(a) T形継手 (片面溶接) (b) T形継手 (両面溶接) (c) かど継手 (両面溶接)

溶接継手標準

- 記号 本標準においては下記の記号を用いるものとする。

1. 溶接開先の表示記号 溶接開先を表すには、溶接方法・継手形式・開先形状などを指定するため、次に示す、分類記号を用いる。
第1項：溶接方法を示す。【付表1】

付表1		
記号	溶接方法の種類	溶接溶込みの種類
MC	アーク手溶接	完全溶込み溶接
MP		部分溶込み溶接
SC	サブマージアーク溶接	完全溶込み溶接
SP		部分溶込み溶接
CC	ガスシールドアーク半自動溶接	完全溶込み溶接
CP		部分溶込み溶接
MPF	アーク手溶接	部分溶込み溶接と隅肉溶接の併用
SPF	サブマージアーク溶接	
GPF	ガスシールドアーク半自動溶接	
MF	アーク手溶接	隅肉溶接
SF	サブマージアーク溶接	
GF	ガスシールドアーク半自動溶接	

- 第2項：継手形式と開先形状を示す。【付表2】

継手形状		開先形状	
記号	名称	記号	名称
B	突合せ継手	I	I形
T	T継手	V	V形
L	かど継手	X	X形
CP	鋼管分岐継手	L	L形
RP	角形鋼管分岐継手	K	K形
		U	U形
		J	J形
		H	H形 (両面U形)
		DJ	両面J形

- 第3項：裏あてのある場合、及び溶接が片側か両側かを示す。
但し、裏あてを用いないときはその記号を省略する。

表示記号は以下のように配列するものとする。
第1項-第2項-第3項

2. 溶接姿勢及び開先の寸法記号

溶接姿勢を表す記号は次の通りである。

- F：下向き姿勢
- H：横向き（水平）姿勢
- V：立向き姿勢
- O：上向き姿勢

開先標準の寸法記号と開先加工の寸法許容差を示す記号及び単位は、次の通りである。

- G：ルート間隔あるいは部材間の間隔 (mm)
- D：開先深さ
- R：ルート面 (mm)
- α：開先角度 (度)
- S：脚長 (mm)
- r：ルート半径 (mm)
- T：母材の板厚あるいは鋼管継手の支管管厚 (mm)
- t₀：有効のと厚 (mm)
- θ：鋼管分岐継手の両管軸の交角 (度)
- μ：鋼管分岐継手の両管の面角 (度)
- ΔG：ルート間隔あるいは部材間の間隔に対する許容差 (mm)
- ΔR：ルート面に対する許容差 (mm)
- Δα：開先角度に対する許容差 (mm)
- Δr：ルート半径に対する許容差 (mm)

突合せ溶接

(a) アーク手溶接

(b) ガスシールドアーク半自動溶接

(c) サブマージアーク自動溶接

記 号	図	適用板厚 (mm)	溶接 姿勢	寸 (mm) 法	記 号	図	適用板厚 (mm)	溶接 姿勢	寸 (mm) 法	記 号	図	適用板厚 (mm)	溶接 姿勢	寸 (mm) 法		
MC-B1-2		≦6	F H V O	$\frac{1}{2}T$	GC-B1-2		≦6	F H V O	$\frac{1}{3}T$	SC-B1-2		6~12	F	G	0	
MC-B1-B1		≦6	F H V O	T	GC-B1-B1		≦6 ≦8	F H V O	$\frac{2}{3}T$ T	SC-B1-B1		6~9	F	G	T	
MC-BV-2		≧6	F H V O	$\frac{0}{2}$ $\frac{2}{60}$	GC-BV-2		≧6	F H V O	$\frac{0}{2}$ $\frac{2}{60}$	SC-BV-2		≧12	F	$\frac{G}{D1}$ $\frac{R}{R}$ $\alpha 1$	$\frac{0}{8}$ T-R $\frac{8}{60}$	
MC-BV-B1		≧6 ≧12	F H V O	$\frac{6}{2}$ $\frac{2}{35}$	GC-BV-B1		≧6 ≧12	F H V O	$\frac{6}{2}$ $\frac{2}{35}$	SC-BV-B1		≧9	F	$\frac{G}{D1}$ $\frac{R}{R}$ $\alpha 1$	$\frac{10}{2}$ T-R $\frac{2}{30}$	
MC-BX-2		≧16	F H V O	$\frac{0}{2}$ $\frac{2}{80}$ $\frac{2}{80}$ $\frac{2}{80}$	GC-BX-2		≧16	F H V O	$\frac{0}{2}$ $\frac{2}{80}$ $\frac{2}{80}$ $\frac{2}{80}$	SC-BX-2		≧19	F	$\frac{G}{D1}$ $\frac{R}{D2}$ $\alpha 1$ $\alpha 2$	$\frac{0}{8}$ $\frac{2}{80}$ $\frac{2}{80}$ $\frac{2}{80}$ T-R $\frac{8}{80}$ $\frac{2}{80}$	
MC-BL-2		≧6	F H V O	$\frac{0}{2}$ $\frac{2}{45}$	GC-BL-2		≧6	F H V O	$\frac{0}{2}$ $\frac{2}{45}$	SC-BL-2		≧12	F	$\frac{G}{D1}$ $\frac{R}{R}$ $\alpha 1$	$\frac{0}{6}$ T-R $\frac{6}{50}$	
MC-BL-B1		≧6 ≧12	F H V O	$\frac{6}{2}$ $\frac{2}{35}$	GC-BL-B1		≧6 ≧12	F H V O	$\frac{6}{2}$ $\frac{2}{35}$	SC-BL-B1		≧9	F	$\frac{G}{D1}$ $\frac{R}{R}$ $\alpha 1$	$\frac{10}{2}$ T-R $\frac{2}{30}$	
MC-BK-2			F H V O	$\frac{0}{2}$ $\frac{2}{45}$ $\frac{2}{80}$ $\frac{2}{80}$	GC-BK-2		≧16	F H V O	$\frac{0}{2}$ $\frac{2}{45}$ $\frac{2}{80}$ $\frac{2}{80}$	SC-BK-2		≧19	F	$\frac{G}{D1}$ $\frac{R}{D2}$ $\alpha 1$ $\alpha 2$	$\frac{0}{6}$ $\frac{2}{80}$ $\frac{2}{80}$ $\frac{2}{80}$ T-R $\frac{8}{80}$ $\frac{2}{80}$	
					GC-T1-2		≦6	F H V O	$\frac{1}{3}T$	GC-T1-2		6~9	F	H	G	0
MC-TL-2		≧6	F H V O	$\frac{0}{2}$ $\frac{2}{45}$	GC-TL-2		≧6	F H V O	$\frac{0}{2}$ $\frac{2}{45}$	GC-TL-2		≧9	F	$\frac{G}{D1}$ $\frac{R}{R}$ $\alpha 1$	$\frac{0}{6}$ T-R $\frac{6}{80}$	
MC-TL-B1		≧6 ≧12	F H V O	$\frac{6}{2}$ $\frac{2}{35}$	GC-TL-B1		≧6 ≧12	F H V O	$\frac{6}{2}$ $\frac{2}{35}$	GC-TL-B1		≧9	F	$\frac{G}{D1}$ $\frac{R}{R}$ $\alpha 1$	$\frac{10}{2}$ T-R $\frac{2}{30}$	
MC-TK-2		≧16	F H V O	$\frac{0}{2}$ $\frac{2}{45}$ $\frac{2}{80}$ $\frac{2}{80}$	GC-TK-2		≧16	F H V O	$\frac{0}{2}$ $\frac{2}{45}$ $\frac{2}{80}$ $\frac{2}{80}$	GC-TK-2		≧19	F	$\frac{G}{D1}$ $\frac{R}{D2}$ $\alpha 1$ $\alpha 2$	$\frac{0}{6}$ $\frac{2}{80}$ $\frac{2}{80}$ $\frac{2}{80}$ T-R $\frac{8}{80}$ $\frac{2}{80}$	
MC-L1-B1		≦6	F H V O	G	GC-L1-B1		≦6 ≦8	F H V O	G							
MC-LV-2		≧6	F H V O	$\frac{0}{2}$ $\frac{2}{60}$	GC-LV-2		≧6	F H V O	$\frac{0}{2}$ $\frac{2}{60}$	SC-LV-2		≧9	F	$\frac{G}{D1}$ $\frac{R}{R}$ $\alpha 1$	$\frac{0}{8}$ T-R $\frac{8}{80}$	
MC-LV-B1		≧6 ≧12	F H V O	$\frac{6}{2}$ $\frac{2}{35}$	GC-LV-B1		≧6 ≧12	F H V O	$\frac{6}{2}$ $\frac{2}{35}$	SC-LV-B1		≧9	F	$\frac{G}{D1}$ $\frac{R}{R}$ $\alpha 1$	$\frac{10}{2}$ T-R $\frac{2}{30}$	
MC-LL-2		≧6	F H V O	$\frac{0}{2}$ $\frac{2}{45}$	GC-LL-2		≧6	F H V O	$\frac{0}{2}$ $\frac{2}{45}$	SC-LL-2		≧9	F	$\frac{G}{D1}$ $\frac{R}{R}$ $\alpha 1$	$\frac{0}{6}$ T-R $\frac{6}{50}$	
MC-LL-B1		≧6 ≧12	F H V O	$\frac{6}{2}$ $\frac{2}{35}$	GC-LL-B1		≧6 ≧12	F H V O	$\frac{6}{2}$ $\frac{2}{35}$	SC-LL-B1		≧9	F	$\frac{G}{D1}$ $\frac{R}{R}$ $\alpha 1$	$\frac{10}{2}$ T-R $\frac{2}{30}$	
MC-LK-2		≧16	F H V O	$\frac{0}{2}$ $\frac{2}{45}$ $\frac{2}{80}$ $\frac{2}{80}$	GC-LK-2		≧16	F H V O	$\frac{0}{2}$ $\frac{2}{45}$ $\frac{2}{80}$ $\frac{2}{80}$	SC-LK-2		≧19	F	$\frac{G}{D1}$ $\frac{R}{D2}$ $\alpha 1$ $\alpha 2$	$\frac{0}{6}$ $\frac{2}{80}$ $\frac{2}{80}$ $\frac{2}{80}$ T-R $\frac{8}{80}$ $\frac{2}{80}$	

突合せ継手（完全溶込み）

Ｔ型継手（完全溶込み）

かど継手（完全溶込み）

突合せ継手 (完全溶込み)

T型継手 (完全溶込み)

かど継手 (完全溶込み)

参考

隅肉溶接																							
(a) アーク手溶接					(b) ガスシールドアーク半自動溶接					(c) サブマージアーク自動溶接													
記 号	図	適用板厚 (mm)	溶接 姿勢	寸 法 (mm)	記 号	図	適用板厚 (mm)	溶接 姿勢	寸 (mm) 法	記 号	図	適用板厚 (mm)	溶接 姿勢	寸 (mm) 法									
MP-BI-1		≦6	F H V O	G 0	GP-BI-1		≦8	F H V O	G 0	SP-BI-1		≦20	F G	0	ストレートビード 巾の1/2以下								
MP-BI-2		≦9	F H V O	G 0	GP-BI-2		≦12	F H V O	G 0	SP-BI-2		≦20	F G	0									
MP-BL-1		≧6	F H V O	G D1 R α1 0 ≧2√T T-D1 45°	GP-BL-1		≧6	F H V O	G D1 R α1 0 ≧2√T T-D1 45°	SP-BL-1		≧16	F H R α1 G D1 R α1 0 ≧2√T T-D1 50°										
MP-BX-2		≧25	F H V O	G D1 R D2 α1 α2 0 ≧2√T T-(D1+D2) ≧2√T 60° 60°	GP-BX-2		≧25	F H V O	G D1 R D2 α1 α2 0 ≧2√T T-(D1+D2) ≧2√T 60° 60°	SP-BX-2		≧25	F G D1 R D2 α1 α2 0 ≧2√T T-(D1+D2) ≧2√T 60° 60°										
MP-BK-2		≧25	F H V O	G D1 R D2 α1 α2 0 ≧2√T T-(D1+D2) ≧2√T 45° 45°	GP-BK-2		≧25	F H V O	G D1 R D2 α1 α2 0 ≧2√T T-(D1+D2) ≧2√T 45° 45°														
MP-TL-1		≧9	F H V O	G D1 R α1 0 ≧2√T T-D1 45°	GP-TL-1		≧9	F H V O	G D1 R α1 0 ≧2√T T-D1 45°	SP-TL-1		≧16	F R α1 G D1 R α1 0 ≧2√T T-D1 60°										
MP-TK-2		≧25	F H V O	G D1 R D2 α1 α2 0 ≧2√T T-(D1+D2) ≧2√T 45° 45°	GP-TK-2		≧25	F H V O	G D1 R D2 α1 α2 0 ≧2√T T-(D1+D2) ≧2√T 45° 45°	SP-TK-2		≧25	F G D1 R D2 α1 α2 0 ≧2√T T-(D1+D2) ≧2√T 50° 50°										
MP-LI-1		≦6	F H V O	G 0	GP-LI-1		≦9	F H V O	G 0	SP-LI-1		≦20	F G	0	ストレートビード 巾の1/2以下								
MP-LI-2		≦9	F H V O	G 0	GP-LI-2		≦12	F H V O	G 0						ストレートビード 巾の1/2以下+ 隅肉のど厚								
MP-LV-1		≧6	F H V O	G D1 R α1 0 ≧2√T T-D1 45°	GP-LV-1		≧6	F H V O	G D1 R α1 0 ≧2√T T-D1 60°	SP-LV-1		≧16	F R α1 G D1 R α1 0 ≧2√T T-D1 60°										
MP-LL-1		≧6	F H V O	G D1 R α1 0 ≧2√T T-D1 45°	GP-LL-1		≧6	F H V O	G D1 R α1 0 ≧2√T T-D1 45°	SP-LL-1		≧16	F R α1 G D1 R α1 0 ≧2√T T-D1 50°										
MP-LK-2		≧25	F H V O	G D1 R D2 α1 α2 0 ≧2√T T-(D1+D2) ≧2√T 45° 45°	GP-LK-2		≧25	F H V O	G D1 R D2 α1 α2 0 ≧2√T T-(D1+D2) ≧2√T 45° 45°	SP-LK-2		≧16	F H G D1 R D2 α1 α2 0 ≧2√T T-(D1+D2) ≧2√T 50° 60°										
重ね継手					GP-B					SP-B													
T型継手					GP-T					SP-T													
フレア溶接					スタッド溶接																		
1. 片面溶接 d/2, d/2					2. 両面溶接 d/2, d/2					2. 両面溶接 d/2, d/2													
原則としてアーク手溶接、又はガスシールドアーク半自動溶接とする。					・スタッド溶接はアークスタッド溶接の直接溶接とし、原則として下向き姿勢とする。					・溶接要項は日本建築学会「溶接工作規準Ⅱ スタッド溶接」に準じて行う。													

溶接開先適用図		(第1項では溶接方法の種類M・S・Gは省略する。第3項のないものは、いずれによっても良い。)	
内ダイアフラム型		通しダイアフラム型	
BOX 柱			
H 柱			
柱貫通型		梁貫通型	
		(注) 柱脚については柱貫通型 と同じ。	

参考